

**特集1 腎移植 過去→現在→未来**

第10回 川島病院市民公開講座

2024年度事業計画

**特集2 プライベート人間ドック**

2023-2024 Photo report





川島会の取り組み  
研究活動記録等  
刊行物の紹介



表紙写真:市街地に浮かぶ満月  
眉山からの眺望は自然の移ろいを体を感じる。風騒ぐ花吹雪、微かに聞こえる三昧の音、虫の音、凜れる早朝初日の出など今年もこんな季節がやって来た。(撮影/川内秀喜)

# Contents

Kawashima Hospital Group Magazine

|    |            |                                                                      |
|----|------------|----------------------------------------------------------------------|
| 2  | <b>特集1</b> | <b>腎移植</b> 過去→現在→未来                                                  |
| 14 | .....      | 第10回 川島病院市民公開講座                                                      |
| 20 | <b>特集2</b> | <b>川島病院の“少人数限定”<br/>プライベート人間ドック</b>                                  |
| 25 | .....      | 2024年度事業計画                                                           |
| 26 | .....      | 職員の素顔                                                                |
| 29 | .....      | Photo report フォトレポート<br>健康・福祉フェスタ、阿波踊り、慰安旅行、BBQ大会、<br>部活動(バレーボール、野球) |
| 41 | .....      | 2023-2024年 資料編                                                       |

K ind 優しい

H onest 誠実な

G rowing 伸びゆく

## 私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

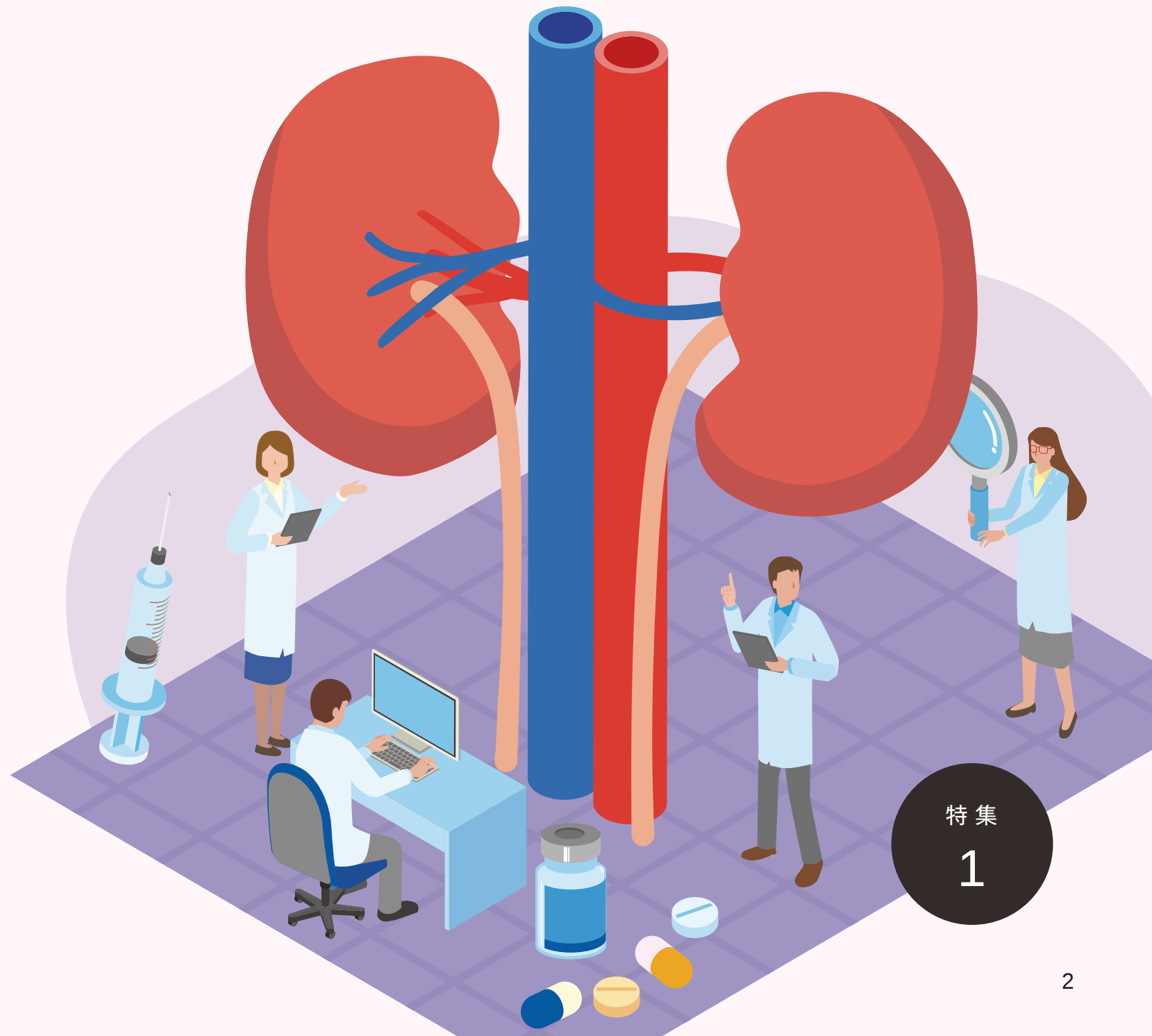
## 私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎泌尿器疾患、循環器疾患、糖尿病、血液内科、消化器内科、整形外科の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境 医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。

# 腎移植

過去 → 現在 → 未来



特集  
1

## 腎不全治療の道を拓いて

～医師人生の原点と挑戦～

川島ホスピタルグループ会長  
川島 周

私

は昭和46年に京都府立医科大学を卒業し医師となり、徳島大学第一内科に入局しました。何を専門にするというところまでは決めておらず、学生時代に第一内科に入院していた経緯もあり、入院の延長線上の感じで入局をしました。そして翌年1月からは小松島赤十字病院内科に派遣され、数多くの内科疾患の治療に従事することになりました。今から考えると信じられませんが、当時の日赤内科常勤医師はわずか3人であり、殆ど上司不在でした。そこで医師としての数多くの貴重な経験を積んでいく中で、私は腎不全治療に興味を持つようになりました。理由は、その頃脳出血も心筋梗塞も白血病も患者が入院する時にはその人の予後はほぼ決まっていた。もちろん腎不全患者も同様でしたが、成書

にはかなり長生きもできると書かれていました。長生きといっても5年とか10年くらいでありましたが、私には重大な意味を持っていました。そのような理由で結局昭和48年4月には東京女子医科大学人工腎臓センターに入局し、腎不全治療の勉強を始めることになった次第であります。当時としては極めて少数派の考えであり、賛成してくれる人もいませんでしたが、多くの常識ある先輩の方々が私の将来を心配して、温かく入念に反対して下さり複雑な心境であったと記憶しております。

女子医大奉職時は透析と腎移植の勉強が私たち新入医員に課せられた一大テーマでした。毎日の業務は透析室の穿刺に始まり、患者回診・指示出しをした後病棟回診もしておりました。午後は手術室での業務、または犬をつかった腎移植の動物実験もしておりました。6月になり生体腎移植が行われることになりました。私は主治医補佐のような立場で術前のプレゼンテーションを英語で行ったのを覚えております。術前カンファレンスは榊原先生が開設された「心臓血管研究所」と合同で行っており、英語で質問されたのを記憶しております。移植当日は二つの手術室を同時に使い、私はレシピエント（受腎者）の担当でした。手術台の横ですと控えておりましたが、母親から摘出した腎臓が運ばれてきて息子の右腸骨のあたりにおかれて、腎動脈・腎静脈・尿管の順に吻合されました。術者の合図で鉗子がいずれもささりました。そして数秒後に尿管からピュピュと尿がほとばしるのが見えました。本当にドラマチックな瞬間でした。これを医者



仕事であると心から認識しました。また当時は移植術後1ないし2週間はわれわれ医師が交代で病室内の患者の傍で寝泊まりし、待機することになっていました。理由は1時間毎に採尿をし、その尿中のナトリウム・カリウム濃度を測定するためです。もし拒絶反応が起ると尿管細胞に破綻が起り、その結果ナトリウムとカリウムの比率に変動が起ると考えられていました。拒絶反応が発現したかどうかの唯一の診断法として当時は非常に重要な検査でした。この間には患者の医学的状況の把握をするだけでなく、患者さんという話をたくさんしました。その患者は20代後半で母親の腎臓をもらったわけですが、ドナーの選定も当時は大変でした。赤血球の血液型だけでなく、白血球の型、組織適合検査結果、輸血歴、提供者本人の意向など様々な関門がありました。医学的な問題だけでなく、いわゆる非医学的な問題も極めて大きな問題でした。長い透析生活の末にやっと腎移植を受ける機会が到来したと思ったら最後の審判のような拒絶反応という関門を通らなければならぬという大変な人生を歩む人と一人きりで過すというのは私にとって空前絶後の

経験と記憶しております。あの人は言っていました。「透析を受けながら人生を送るのは本当の人生ではないですよ」「手術が済んでサンマの塩焼きを久しぶりに食べたが、こんなにサンマが旨いとは知りませんでした」としみじみと語っていました。私はこの経験から腎不全治療には透析と腎移植が車の両輪のように必須であると思い込むようになりました。この言葉は恩師の太田和夫教授の信念であり、先生はこの精神を実証するために人工腎臓センターを腎臓病総合医療センターへと発展されました。私としては父が運営する川島病院の一角に透析室を昭和51年1月に開設しましたが、この病院での腎移植は夢のまた夢と考えておりました。しかし私は太田先生のお教えをそっくりそのまま「真似」をすること掛けてきました。その甲斐があり、新築移転した川島病院において昭和61年に徳島県として第1例目の腎移植手術を実施する事ができました。それ以前にもう一つエピソードがあります。それは川島病院で慢性維持透析を受けていた患者さんがアメリカ人からの献腎移植術を受けることができました。アメリカの腎バンクと日本の腎バ

ンクの連携下で東京女子医大腎センターが仲介しました。当院の患者さんとアメリカからの腎臓が適合するという判断と患者さんの希望により、女子医大で手術が行われました。アメリカで摘出された腎臓がはるる海を渡り東京で徳島県人に移植されたのです。第1例の成功によりその後二人の患者さんが同じような移植を受けました。二人とも完全に透析から離脱することができました。結局川島病院の患者さんが三人アメリカ人の腎臓をしてもらいましたが、残念ながら三人ともその後、移植腎は拒絶され透析生活に復帰せざるを得ませんでした。佐古三番町にあった川島病院時代の昭和56年と57年での出来事です。移植に関してはまだまだ書ききれない思い出がいっぱいあります。本当にこの時代は私の医師としての青春時代でした。いっぱい勉強し、いっぱい苦労し、いっぱい失敗もしました。本当に懐かしい思い出がいっぱい詰まっている時代です。令和6年10月までの現在川島病院では86例の腎移植手術を実施することができております。水口理事長をはじめとする職員の方々の献身的尽力に感謝するとともに、腎不全治療のさらなる発展を祈念しております。

# 腎不全患者に希望を

## 腎移植医療が叶えた可能性

### 私

が腎不全医療に携わるようになったのは内科研修医時代の1978年でした。当時の患者さんの平均年齢は40歳代であり、透析を開始して10年生存すれば患者会から表彰されるような時代でした。したがって患者さんの腎移植への期待は大きく、多くの患者さんが腎移植を希望していました。腎不全医療に携わるうえでこの期待に答えなければならぬと思い、川島会長のすすめで東京女子医科大学腎臓病総合医療センターでの研修を決定しました。私は内科医でありましたが、外科の移植グループに属し約300例の腎移植を経験、移植手術も習得し、1985年8月に川島病院へ入職しました。翌年1986年8月27日には東京女子医科大学太田和夫教授をはじめ腎臓病総合医療センターメン

バーの全面的バックアップを受け46歳の女性透析患者さんに48歳の姉を腎提供者とした徳島県初の腎移植をおこないました。川島病院ではその後も腎移植を希望される患者さんに移植医療の提供を続ける、日本では数少ない腎移植ができる民間病院となっています。この38年間に川島病院で腎臓移植を受けた患者さんの数は86人（生体腎・79人、献腎・7人）となり、現在も62人が元気で通院中です。徳島県初の腎移植患者さんは84歳となりましたが、健康状態は極めて良好であり、移植腎は蛋白尿もなく血清クレアチニン値は0.6mg/dl程度と安定しています。日本の透析医学・医療はこの50年間あまりで著しい発展を遂げ、世界有数の透析人口比率を有しその治療成績は国際的にみても最高のレベルに達しているということがで

きます。しかし欧米の国々と比較し血液透析患者数の多さに比べ、腎移植や腹膜透析を受ける患者数が極端に少ないという極めてアンバランスな状況となっています。血液透析の場合は週に3回透析施設へ通院する必要があるのに対し、腎移植では安定すれば1〜3月に1回の通院治療が可能となります。若年透析患者さんにとって、腎臓移植の普及は大変重要な課題であります。透析を余儀なくされている若い世代の腎不全患者さんが、今後一生透析を続け健康者と同じように元気に過ごすことは、現在の血液浄化技術では困難であります。健康者と変わらない生活を取り戻すためにも、より多くの若年患者さんに腎移植を受けていただきたいと思っています。透析医や腎臓内科医は腎移植という治療法のオプションを呈示することが重要

川島病院 理事長  
水口 潤



1986年(昭和61年)9月6日徳島新聞



# 日本における 腎移植の現状と課題 （川島会から目指す医療の進化）

川島病院 腎臓外科 唐仁原 全



であり、腎移植が可能かどうかは個々の患者の医学的条件に加え、提供者の有無や社会的環境を考慮し、患者と十分に相談することが重要であります。そのためには透析医や腎臓内科医が、腎移植に関する十分な知識を得ることが必要であります。

一方で、日本では臓器提供そのものが少なく、移植を希望しているにもかかわらず移植を受けることができない患者さんが多いことが指摘されています。腎移植には健康な親族（6親等以内の血族または配偶者と3親等以内の血族）から腎臓の提供を受ける生体腎移植と、脳死や心臓死になられた方から腎臓の提供を受ける献腎移植があります。日本では生体腎移植に関しては人口100万人あたり約10名の提供者があり、オランダの約30名、アメリカやイギリスの約20名と比較すると少ないものの、スイス、オーストラリア、スペイン、ドイツなどと同等であり世界のなかでも平均的な生体腎移植の普及状況といえます。しかし脳死や心臓死による臓器提供数において日本では人口100万人あたり0.88名と1名にも満たない提供者数であり、アメリカやスペインの約45名、韓国やドイツの約10名と比べ臓器の提供が非常に少ない



状況といえます。したがって日本では臓器移植を受ける機会が少なく、献腎移植希望の登録者が約15,000名に対し年間の献腎移植を受けられる患者さんは150〜200名であり、待機年数は約15年と長期となっています。日本での臓器提供が少ない要因として、まず脳死が「臓器提供をする場合に限って1人の死とされていること、臓器提供ができる施設が限られていることが挙げられます。次に制度上の問題としてアメリカや韓国では脳死状態の患者が発生した場合、臓器幹旋機関への報告義務がありますが、日本では義務はなく任意となっています。したがって、日本では脳死患者は年間3,000〜5,000名発生している」と推察されていますが、日本臓器移植ネットワークへ報告される数は400〜500にとどまっています。すべての脳死状態の患者が報告されれば、韓国やドイツ並みの臓器提供が行われる可能性があります。しかしそう言った場合、新たな課題が生まれます。臓器移植の増加に対応するため、脳死患者が発生した医療施設に派遣される臓器移植コーディネーターや移植関連の検査施設の充実、さらには

働き方改革が進むなか現在でも不足がちな移植外科医の育成です。一気に臓器提供数が増加した場合には各部門が対応できず、提供臓器を無駄にしてしまう可能性が大きく、臓器提供数は各部門の充実とバランスを取りながら徐々に増加させていく必要があると考えます。今後、移植外科医の負担軽減のためには、腎移植希望患者さんや腎提供者の術前評価や術後管理に関して、腎臓内科医や透析医との連携が求められます。また腎移植後6カ月〜1年が経過し長期生着が期待される時期になると、腎移植後の合併症予防として高血圧症、高脂血症、肥満、糖尿病など生活習慣病への対策に加え、癌検診が不可欠となります。さらに移植後の糸球体腎炎再発や慢性拒絶反応、慢性移植腎症の診断・治療も大きな課題であります。これらの管理には腎臓内科医の関与が重要であり、今後は腎臓内科医や透析医の腎移植医療への積極的参加が求められます。

## 私

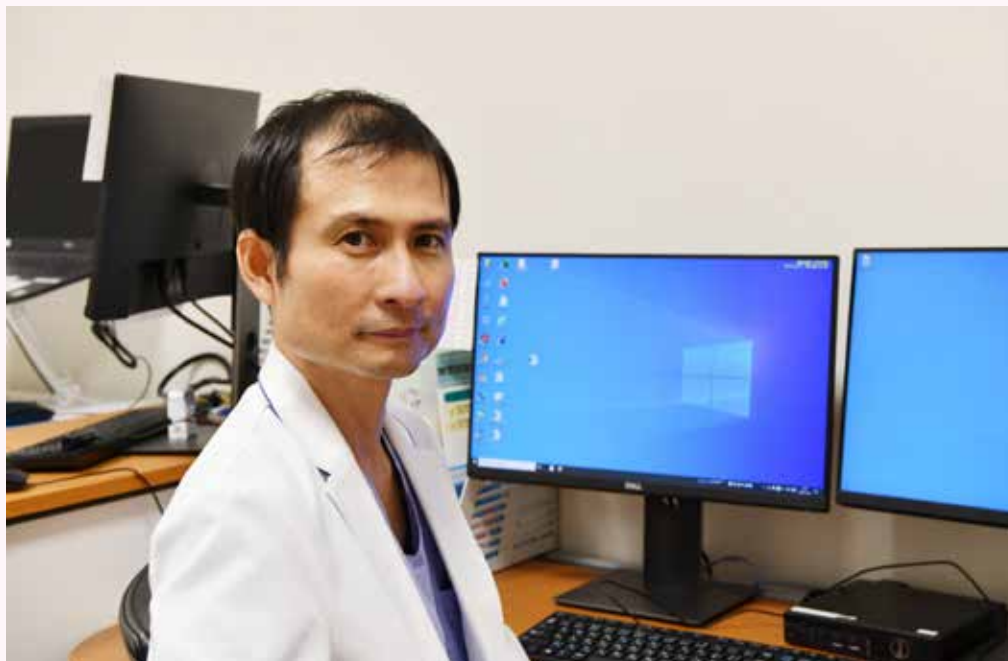
は1983年に大学を卒業後すぐに東京女子医科大学腎臓病総合医療センター外科に入局しました。当時の東京女子医科大学腎臓病総合医療センターは透析療法と腎移植を含む腎臓外科の泰斗であられる太田和夫先生が主催しており、全国から腎臓病に対する透析療法と外科治療を学ぶうとする新進気鋭の若い医師が多数集まっていました。私の入局当時の直属の上司が川島会の現理事長である水口潤先生でした。腎臓外科については後述しますがその大きな柱として腎移植がありました。1983年当時はシクロス

ポリンという新しい免疫抑制剤が欧米で使われ始めており、東京女子医科大学でも治験薬として臨床に導入されたばかりでした。当初は腎移植患者に対する適切な投与量も不明で副作用により腎機能が悪化する場合もありましたが次第に使用法に慣れていき臨床成績も安定しました。シクロスポリン登場以前の免疫抑制剤はステロイドとアザチオプリンという代謝拮抗薬しかなく臓器移植の成績は芳しいものではありませんでした。ステロイドの投与量も多くその副作用による消化管出血、感染症などで命を落とす患者さんもありました。シクロスポリン以前の腎移

植の1年生着率は50〜60%、5年生着率は20〜30%でしたが、シクロスポリンの登場で1年生着率80〜90%、5年生着率は60〜70%まで改善しました。シクロスポリンは腎移植の歴史における大きな転換点となり、その後の移植医療の基盤を築いたと言えます。続いてタクロリムスやマイコフェノール酸モフテル、バシリキシマブなどの新たな免疫抑制剤が開発され、腎移植の成績はさらに向上しました。長年移植医療に携わりこれらの免疫抑制剤の出現の現場に立ち会い移植医療の進歩を体感できたことは幸運であったと思います。

## 移植医療の現状

日本の臓器移植は心・肺・肝・脾・腎・小腸と全ての臓器で行われており、その成績も世界的水準に引けを取りません。しかしながらドナー不足による症例の少なさが顕著であり臓器移植推進のために今後二層の努力が必要です。因みに米国の1年間の腎移植数は約27,000件であるのに対し日本では年間約1,700件と15分の1にも及びません。その少ない中でも大部分の腎移植が生体ドナーからの生体腎移植であり、死体ドナーからの献腎移植が極端に少ないのもわが国の特徴です。



川島病院 腎臓内科 田代 学

# 腎移植に関わってき

## 腎

移植医療は透析が必要になった患者さんにおいて、重要な選択肢になる

ことは知られております。しかし、実際に腎移植をしている施設は限られており移植医療の普及は世界的にみても進んでいるとは言えないのが実情であります。

私も大学時代には、移植患者を診る機会が数回ありましたが、移植医療に関わることはほとんどなく、主に泌尿器科医が術前から術後の管理まで一手に引き受けておりました。最近では術前や術後の落ち着いた時期からは腎臓内科医に受け渡す分業が進んでおり腎臓内科医の出番が増えてきている印象もあります。腎臓内科医が介入することのメリットとしては、移植後の腎炎の再発、腎拒絶の診断治療だけでなく、貧血、尿酸値、CKD-MBD、血圧などを含めた全身的な内科的管理ができることにあると思います。また免疫抑制剤

を内服しており易感染状態である移植患者は、思わぬ重篤な感染症を発症することがあり、肝を冷やすことも時々あります。細菌感染、サイトメガロウイルス感染、肝炎ウイルス、真菌、結核など様々な感染症を考慮しつつ治療をすることも要求されており、感染症の面からも内科的治療が必要になってきます。

近年、免疫抑制剤の進歩もあり腎生着率が伸びているのもあり、腎硬化症などの拒絶以外の要因による腎障害の進行、透析再導入というケースも見受けられます。

日本においては2次移植、3次移植の症例は少ないのですが、そのような患者さんにも移植の選択肢があることは忘れてはいけないと思います。

最近、医師の働き方改革が問題となっており、移植医における過酷な状況も問題になっております。脳死下や心停止下臓器移植における献腎移植の時は、腎臓摘出に赴き、臓器を自施設に搬送して移植をするという非常に過酷な状況になっております。日本移植学会においては互助制度（別の医療機関の移植医に臓器の摘出や移植手術の応援を依頼する制度を導入して移植医の負担軽減を目指す

ような取り組みも施行されております。このように移植医療の推進には移植医の職場環境の改善も望まれております。

徳島県での腎移植施設は、川島病院と徳島大学の2施設であり、川島病院では年間3〜4件程度の移植件数、腎移植外来通院患者数は約50名であり移植医療に携わる機会をいただいております。川島病院に赴任したばかりの時に、実際に移植手術を間近に見て劇的に変化する患者をみて感動したのを覚えております。

また、当院の生体腎移植は湘南鎌倉総合病院の田邊一成先生が執刀に来ていただいております。スペシャリストの手法を間近で勉強する機会があり有難いです。移植手術においては腎臓と血管の位置関係をみて、どのように繋ぐかデザインを決めるのが重要であると教えていただいております。術後のエコーで確認すると見事なデザインになっているのが印象的です。

大学時代には、移植患者に関するコンサルトは上級医が泌尿器科医にアドバイスをするというのがメインであり、敷居の高いというイメージを持っておりましたが、川島病院においては敷居の高さを感じることな

## 今後の展望について

日本全国の透析患者数は約34万人であるのに対し年間腎移植数はその200分の1である約1、700件です。透析人口と腎移植患者数の不均衡が日本の特徴でありこの問題を解消するために腎移植の啓発活動、移植実施施設の拡充、臓器提供意思表示カードの普及、臓器移植ネットワークの整備、献腎移植の増加等を推進する必要があります。

## 腎臓外科について

腎臓外科とは腎不全に関連した疾患に対する外科的治療を行う科です。腎移植のほかに血液透析に必須であるブラッドアクセス（内シャント）の造設・修復、2次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺摘出術、長期透析患者にみられる手根管症候群やバネ指に対する手術、透析患者の腹部外科

手術等が挙げられます。最近では血液透析のほかに腹膜透析を選択する患者さんも増えています。腹膜透析用カテーテルの留置術、留置した腹膜透析用カテーテルのトラブルなども腎臓外科で対応します。近年では透析関連疾患に対する各科の理解も進み、透析関連合併症に対する外科手術を腎臓外科だけではなく各専門科で担当することも増えてきています。

東京女子医科大学では腎移植のほかに肝移植、脾移植にも携わり、2008年に国際医療福祉大学移植外科に移籍後も腎移植を続けてきました。徳島県の透析医療の中核をなし、多数の腎不全患者さんの治療を担う川島会に所属させていただき、どれほどの貢献ができるか分かりませんが、腎不全の外科治療、腎移植医療の充実に向けて微力ながら貢献したいと思っています。

川島病院において、2023年は生体腎移植6例と献腎移植1例、2024年は生体腎移植3例と献腎移植1例を行いました。移植腎は全例生着しています。全国的に脳死ドナーが増加傾向にあり、今後さらに献腎移植症例の増加が見込まれます。生体腎移植についても川島病院で盛んなロボット手術が生体腎移植ドナーの保険適応となれば、症例数の増加が期待できます。医療経済の面からも長期的には腎移植は透析療法より経済的であり、移植医療の発展・進歩はわが国の医療政策のなかで重点項目となっています。川島病院においても、病棟体制等の諸条件を調整しつつ、少しずつ腎移植症例が増加していくと思われま



# 検査室における 腎移植の携わり

臨床検査技師 岡本 拓也



川 島病院検査室では、腎移植患者さんのさまざまな検査に携わっております。

移植前検査では生化学や血液一般検査、感染症検査、尿検査、心電図検査、超音波検査といったスクリーニング検査や、免疫抑制剤の薬剤血中濃度の検査や移植関連検査としてH L A 検査や抗H L A 抗体スクリーニング検査、フローサイトクロスマッチ検査の採血管準備や検体処理を行っています。腎移植時の準備血として移植前

に交差適合試験を実施し、必要な輸血製剤を準備しています。また、腎移植時の腎生検にも立ち合い、生標本下の糸球体数の確認や検体採取の補助（各検査に必要な切り出し作業）、検査依頼先への準備等を実施しています。移植後も定期的な検査として、腎機能検査、尿検査、免疫抑制剤の薬剤血中濃度の検査にも携わっています。今後は腎移植患者さんに有益な検査結果を提供できるよう努めたいと思います。

く移植医療に携わる機会をいただいております。もちろん、移植患者特有の病態、使用する免疫抑制剤の違い、腎生検における腎組織の見方の違いなどのポイントを熟知する必要があります。

また、腎臓内科の立場からすると生体腎移植において、レシピエントの側面ばかり表立っている印象がありますが、ドナー側の残腎機能を守ることも同じように重要であります。

2023年からは移植のスペシャリストである唐仁原先生が赴任され、10年ぶりの献腎移植を自施設のみで施行することができました。私も献腎移植に携わるのは初めてで生体腎移植との違いなど含めて勉強させてもらいました。

移植医療には腎臓内科、外科、泌尿器科、移植コーディネーターなど、様々な領域のスペシャリストが関与して成り立っている医療ですが、普段の診療は移植分野以外を主にされている先生方が多く、移植の時にチーム編成をしている場合が多いと思います。そのような環境下であるのが原因ではないと思いますが、移植医は常に人材不足でありますので興味のある先生方にはどんどん参画して欲しいと思います。

移植医療の普及には、移植を知ってもらうことが大切であると思います。移植医療の素晴らしさを理解すること、そして移植したすべての患者さんをHappyにすることはできないという現実も知って欲しいと思います。

まず個人でできることは、健康保険証、免許証、マイナンバーカードなどにある臓器ドナー提供意思表示カードを記入することだと思います。

そして1施設としてできることは限られておりますが、透析患者の献腎登録者数を増やして移植の待機患者を増やすことも大切であると思います。

移植をしている施設以外にも移植医療に携われる施設は多いと思います。

クリニックなどの透析施設、透析導入施設、保存期腎不全患者を診ております先生方などに移植を身近なものとして受け入れていただきたいと思っております。そうなることで腎不全患者が移植医療について興味をもつことができたと思います。

## レシピエントコーディネーターとは？

看護師 秋山 和美・西川 雅美



### 臓

器移植のプロセスにおいて、臓器を受け取る側（レシピエント）の患者とその家族をサポートする専門職です。主な役割は、移植手術の準備、臓器提供者とのマッチング、手術後のフォローアップまで、移植に関連する全体のプロセスを調整・管理することです。具体的な業務には患者への情報提供、健康状態のモニタリング

グ、医療チームとの連携、心理的サポートなどが含まれます。医療知識に加え、コミュニケーション能力やストレス管理のスキルが求められます。臓器移植は患者にとって大きな出来事であり、コーディネーターはその過程を円滑に進め、患者が安心して治療を受けられるようにすることが重要な役割を果たします。

腎移植コーディネーターになつたきっかけは？

臓器移植は多くの医療専門家が協力して行うものです。移植医療チームの重要な一員として、患者とその家族のサポートをしたいという思いがきっかけです。

腎移植コーディネーターとしてのやりがい？

腎臓移植は、長期間透析治療を受けている患者にとって、生活の質を大きく改善するものです。透析に頼らずに生活できるようになった患者が、自立した生活を取り戻すのを見ることができるとは、コーディネーターにとって大きなやりがいです。また、腎臓移植が成功すれば患者の健康状態は大幅に改善します。その結果を目の当たりにすることは、コーディネーターにとって非常に喜ばしい瞬間です。患者が再び日常生活に戻り、元気に過ごせる姿を見ることが、仕事のやりがいとなります。



患者との関わりで印象に残っていることはありますか？

長年透析治療を受けていた患者が腎臓移植を受けた後、透析から開放される瞬間は、患者にとって人生を大きく変える瞬間です。透析の日常生活から開放され、自分の時間や自由を取り戻した患者が、新たな生活に喜びを感じる姿は、コーディネーターにとって非常に印象深い出来事です。

腎移植コーディネーターとして今後の展望・期待するところは？

腎臓提供者の不足は依然として課題ですが、今後はドナー登録や生体腎提供の意識がさらに高まることを予想されます。コーディネーターは、移植を希望する患者へのサポートだけでなく、提供者への支援にもさらに注力する必要があるでしょう。また、社会全体で臓器提供に対する理解と関心が高まることで、コーディネーターの活動範囲も拡大していくと思われます。

# Patient interview

【水口理事長】平野さんは慢性腎不全のため、昭和53年から週3回血液透析を受けておられました。移植前の診察のために受診されたときは、副甲状腺が腫れていました。血液透析を長くおこなうと腫れてくるのです。透析治療にはいろいろな合併症を伴います。そのため、その当時透析されていた方はほとんどおなくなりになりました。

【平野さん】週3回の血液透析はいくら命が救われても、透析が終わると体はともしんどいですよ。どこも行けないし、それで一日が終わってしまいます。それに比べたら腎移植の手術後はびっくりするくらいに、体が楽になりました。命拾いさせてもらいました、本当にそう思います。水口先生に出会えて本当に良かったです。

【水口理事長】腎臓移植には健康なドナーから腎臓の提供を受ける生体腎移植と亡くなった方から提供を受ける献体移植があります。移植の大部分は生体腎移植で行われます。でも、なかなか日本ではドナー（注）がいなくて、移植を受けられない方もまだ多くいらっしゃいます。その中でもご兄弟から腎臓をいただける幸運な人は限られています。注：臓器を提供する人をドナー、臓器を受け取る人をレシピエントといいます。

【平野さん】私の姉は「私があげるから、元気になるさ」と言ってくれました。

【水口理事長】お姉さんはアメリカで生活しているから、やっぱり文化も違うのでしょうか。その当時（1986年）でもアメリカでは移植手術はよく行われていました。

【平野さん】姉は当然の事のように、まるで運転免許を取得するみたいに言ってくれました。私が「ご主人と相談しなくていいの？」という「私の腎臓あげるのに、どうして主人の許可をもらわないとダメなの？」私が決める事」とキッパリと言ってくれました。水口先生との出会いと度胸のある姉がいたからこそチャンスが訪れ、姉が主体的に腎臓提供を申し出てくれたことに、本当に救われました。



移植で元気になられて  
良かったですね

水口先生に出会えて  
本当に良かったです

【川島先生】これは昭和61年9月6日の徳島新聞に掲載された38年前の記事ですが、覚えていらっしゃいますか？平野さんもお姉さんもとてもしっかりお願われていますね。

【平野さん】私、元気をそです。昔の新聞ですが表情まで明るく見えるのは血流が良くなったせいでしょうか。こんな手術が川島病院（徳島）でできるのだから、川島周先生、水口先生のおかげでもあります。姉も今もアメリカで元気に暮らしています。生体腎移植は両親がドナーになるケースはたくさんあるようですね。両親になると年齢差もありますが、姉とは2歳違いで、移植にはちょうど良かったらしいです。

【川島先生】移植手術を受けられて、嬉しかったことなどたくさんあると思いますが、何かございますか。

【平野さん】元気なことが一番ですが、心も違う、透析をしなくてよくなって、やっと自由の身になれました。姉はその後毎月のように私の所に遊びに来てくれ、私も姉がアメリカに帰る時付いて行きました。そして、完治したお礼に姉へ世界一周旅行をプレゼントして一緒に楽しんできました。こんな事が出来るのは移植手術以外にはないですよ。

今、移植手術は増えているのですか？

【川島先生】川島病院では今まで86例の移植手術をおこなっています。

【平野さん】それだけたくさんの方が、元の暮らしができるようになったんですね。顔色がどんどん良くなるし、疲れも無くなるし、移植手術を受けなければこれまでの暮らしができるようになりますね。

【川島先生】新聞記事には手術後すぐに平野さんがトイレに行っていたとのおしりが出た時には、大声で泣いた。と載っていますが覚えていらっしゃいますか。

【平野さん】川島病院で二人並んで移植を受け、手術をしたとたんに私のおしりが出たんです。そして姉がおいおい泣きました。老廃物が出るから元気になるんだよね。嬉しかったですね。

それと後で聞いた話では、手術の日も川島病院では百人以上の人が透析をうけていたようですが、病院

38年前の記事ですが  
覚えてますか？

表情が明るく  
元気そうですね



## 腎移植の術前準備と術後ケア

看護師 坂東 春樹

【腎移植・腎移植準備】腎移植は末期腎不全における合併症を改善すること、生活の質（QOL）を改善することを目的としています。ドナー（提供側を100%の腎機能としたら、腎臓を1つもらう腎移植レシピエント（提供される側）は50%の腎機能になります。透析は10%の腎機能を維持する医療です。免疫抑制薬が進歩した現在では、移植腎機能を長期に50%を維持できるようになっています。それにより、長生きと生活の質（QOL）に大きな差が出てきます。

生体腎移植レシピエントは手術1週間前に入院し、手術前から免疫抑制薬を内服します。血液型不適合移植またはドナーに対して何らかの拒絶因子（抗ドナー抗体といいますが）を有する場合、入院日はさらに早くなります。免疫抑制薬の内服だけでなく、点滴による治療が必要となり、血漿交換という処置も行います。

【血液型不適合移植について】血液型（赤血球の型）には、A・B・O・AB型の4つの型があります。血液型が同じことを血液型一致、血液型が同じではないことを免疫学的に問題ないとされている型を血液型不一致、血液型が同じではなく移植を行うには免疫学的に何らかの処置が必要とされる型を血液型不適合といいます。血液型一致と血液型不一致の移植を、血液型適合移植と言います。

血液型不適合移植の場合、特殊な準備が必

要となります。抗血液型抗体（移植腎を異物とみなし、急性期に強い拒絶反応を起こす抗体）を除去するために、移植手術の約1週間前にリツキサンという薬剤の点滴を行います。リツキサンには、新たな免疫機能や造血機能を抑制し血液型の違う抗体を、新たに作らないようにする作用があります。また、リツキサン投与後、抗体を減らすため移植前に通常2〜4回の血漿交換を行い、抗体が下がったことを確認して移植を行います。血漿交換とは、抗体をろ過して除去する方法で血液透析を行う際に一緒にを行います。

【腎移植後】ほとんどの場合、生体腎移植では移植後すぐに尿が出ます。まれですが、尿が出ない場合は一時的に透析を行います。

また、献腎移植ではほとんどの場合で移植後すぐには尿が出ません。この場合にも透析を行います。移植手術後は、感染症や拒絶反応、血管などのつなぎ目の問題などの合併症が起る可能性があります。

腎移植といっても生体腎移植が献腎移植から術直後の尿の出方にかなりの差があります。生体腎移植の場合、ドナーから腎臓が提供されたらすぐにレシピエントへ移植されます。（臓器に血液が流れていない時間がかなり短いです。）

手術が終わったら、すぐに尿が出始めます。尿量は100〜300ml/1時間ほどで、人によってさまざまです。レシピエントの年齢や提供される腎臓の状態でも変

わってきます。手術当日は2時間ごとにインアウトバランスチェックが行われ、輸液が入った量と尿量のバランスチェックを行います。尿量チェックは退院時まで行います。

献腎移植の場合は、いわゆる死体腎が提供されることとなります。なんらかの原因で亡くなった又は、脳死判定されたドナーから腎臓が提供され、レシピエントに移植されるまでの時間は24時間です。生体腎移植に比べ血液が流れていない時間が多く、提供腎が一時的に腎臓の機能が低下した状態のため、献腎移植後の数時間、数日は尿が出ないことがあります。

【指導内容】（水分管理）術後の輸液が減量される頃に飲水量も増やし、最終飲水目標は2000ml/日を目安にします。脱水予防のための水分管理は非常に重要です。腎移植レシピエントは基本的に1つの腎臓で体内の水分管理を担っているため、一度脱水になると予備機能が不足しているために腎障害を起こしやすい、急性拒絶反応などの合併症を引き起こすことにつながるからです。

（免疫抑制剤）免疫抑制剤の主な目的は、免疫を抑制することです。免疫抑制がうまく機能していない場合は、拒絶反応が起きます。少なすぎると拒絶反応が出現し、多すぎると感染症になる可能性があります。よって、血中濃度を測定しながら調整していくこととなります。

移植後は拒絶反応を予防するために、免疫抑制剤を、ずっと飲み続けなければいけません。

（感染予防）移植後は免疫抑制剤を内服するため、抵抗力が弱まっています。そのため、風邪などの感染症にかかりやすい状態となります。移植後は感染予防が大切です。

（体重管理）毎日一定の条件で体重測定を行っていただきます。尿量が減少し水分が体内に貯留すると、全身にむくみが出て、体重が増えます。拒絶反応の初期症状のことがあります。

（拒絶反応）拒絶反応の症状：血清クレアチニンの上昇・移植腎の違和感・移植腎を軽く押さえた時の痛み、腫れた感じ・毎日、移植腎に手を置いてみて、感触を確かめるとよいです。尿量の減少、むくみ、体重の増加・血圧の上昇・発熱などがみられます。

【腎移植後の生活の注意点】腎移植を受けると、多くの場合、健康者とほとんど変わらない生活を送ることができるようになります。ただし、他人から提供してもらった腎臓（移植腎）は、移植者の体にとっては「異物」ですので、何も対処しないと拒絶反応によって早期に機能が失われてしまいます。

また、腎移植を受けても、糖尿病や高血圧といった腎不全の原因となった生活習慣病は治るわけではありません。これらの生活習慣病を悪化させたり、移植後新たに発症したりすると、再び腎不全になってしまう場合もあります。

## 「進化するからだにやさしい低侵襲医療」 手術や検査負担小さく

第10回社会医療法人川島会川島病院市民公開講座「進化するからだに優しい低侵襲医療」(同病院、徳島新聞社主催)が7月21日、徳島市のJRホテルクレメント徳島で開かれた。同病院の金山博臣泌尿器科主任部長が「低侵襲治療の最前線」と題して基調講演。低侵襲治療の概要や、手術支援ロボットについて紹介した。三好人正消化器内科医長は早期がんの検診の選び方、神田和哉泌尿器科部長はロボット手術、飛梅威循環器内科部長は心臓病の低侵襲検査について解説。徳島文理大保健福祉学部の鶯春夫教授はフレイル(虚弱)や認知症の予防法を、実技を交え披露した。



### 健康維持に 役立てて

開会あいさつ

川島会理事長  
水口 潤

この講座はコロナの流行で中断し、5年ぶりに再開できるとを大変うれしく思う。今回のテーマの低侵襲医療は体に優しい、おなかを切ることや、強い痛みなしに行える医療。低侵襲医療はいろんな領域に普及してきている。そのような現状を紹介し、皆さんの病気を早期発見・早期治療することによって、健康を維持できるようにと思う。後半は元気になる体操の話で、皆さんの健康維持に役立てていただきたい。

### 病気予防へ 情報発信

座長あいさつ

川島病院院長  
西内 健

今回、10回目の市民公開講座ということになる。しばらくコロナの関係で開けなかったが、再開することができた。本講座を通じて皆さんにいろんな病気の予防、健康増進、治療方法の選択など、お役に立てる情報を発信していきたい。今回は低侵襲医療ということをテーマにした。低侵襲という言葉はちょっと聞き慣れない方が多いかもしれないが、今回のお話を通じてご理解いただけるのではないかなと思う。



# 「低侵襲治療の最前線」

川島病院泌尿器科主任部長 金山 博臣

低侵襲医療と聞いてどういうものかよく分からないと思う。侵襲とは体を傷つけるということで、低侵襲医療とは、検査や手術などでの痛みや出血、発熱など体に対する負担をできるだけ小さくするために内視鏡やカテーテルなどの医療機器を用いて検査や治療、手術をすることを言う。

からだの負担を小さくすることによって早期回復が可能になり、肉体的、精神的な苦痛を軽減することができる。そして生活の質を向上させることができる。

低侵襲手術の例を挙げると、胃がんあるいは大腸がんの手術は従来、開腹手術でおなかを大きく開けて手術をすることが主流だった。腹腔鏡が、内視鏡手術や腹腔鏡手術、ロボット支

援手術、こういう体に傷をつけない、あるいは非常に小さい傷で手術をする。こういうものを低侵襲手術という。

前立腺がんの手術を例に挙げると、やはりこれも従来は開腹手術だったが、非常に小さい傷でできる腹腔鏡手術、さらにそれがロボット支援手術と、こういった低侵襲手術に変わってきている。

私の専門の泌尿器科では腎結石や尿管結石の手術も以前は大きく体を切って小さな石を取っていたが、体に傷をつけずに体外から衝撃波で石を砕いたり、内視鏡手術で取り除いたりする低侵襲手術となっている。

がんの手術では、胃がんや大腸がん、前立腺がん、あるいは肺がんなどは開腹手術、開胸手術などで大きな

## 体外から衝撃波結石破碎

あり、手ぶれがなく、非常に繊細で正確な手術が可能になる。

低侵襲手術の話をしたが、検査も非常に低侵襲化している。先ほど述べたカプセル内視鏡だ。

こういう非常に低侵襲な検査が可能になつてきており、ロボット支援手術はさらに普及していくのではないかとされる。

検査の方で言えば、血液を取るだけ

で、例えばがんが分かっただけで、尿検査をするだけで、いろんながんが分かっってしまう、そういう時代がおそらくまもなく来るのではないかと気がする。こういったものも非常に研究が進んでいて、低侵襲な検査もさらにでき

てくるのではないだろうか。内視鏡も人間の目で見て組織を取って診断をするというのが現状だが、人工知能が内視鏡の所見を



うかという判断をする時代が近くなっているのではないか。

さらに人工知能がこを治療しなさいとか、ここを切った方がいいですとか、内視鏡手術をサポートするようになり、内視鏡手術だけでなく、ロボット手術にも応用されてくるように思われる。より低侵襲で正確な治療が、可能になつてくるのではないだろうか。

傷で手術を行ってきたわけだが、早期がんに対しては内視鏡手術で低侵襲手術ができ、同時に、胃や大腸を残すことができる。腹腔鏡やろう鏡手術と胸腔鏡手術は低侵襲で、小さな傷でできるが、ロボット手術で行うと、さらに低侵襲でかつ非常に正確で繊細な手術が可能になる。

傷が小さい、出血が少ない、痛みが軽い。こういう低侵襲な治療、手術によって早期退院、早期社会復帰が可能となる。

早期がんの場合は内視鏡で体に傷をつけずに手術ができる。方法としては内視鏡を入れて、ループで表面にあるがん組織を切除したり、電気メスを使って腫瘍を切除したりする方法もある。いずれにしても胃がんや大腸がんの早期がんでは、臓器を取らずに腫瘍だけを取るという低侵襲手術が内



視鏡手術で可能になる。そのためには早期発見が大切だ。また、カプセル内視鏡というのがある。小腸や大腸の検査で内視鏡を入れるのではなく、カプセルを飲んでそれが腸の中を通っている間にいろんな検査ができるというさらに低侵襲な検査だ。

あと、ロボット支援手術について少し説明する。ロボット支援手術というのは、手術支援機器、通称ロボットを用いた手術になる。主に腹腔鏡手術や胸腔鏡手術に使用されている。

ダビンチという機械手術支援ロボットが最初にでき、アメリカでは2000年ごろから使われていた。日本では10年遅れて使えるようになった。今のところこれが主流になっている。

川島病院にもあり、実際には患者さんが横になつて、このダビンチのアーム

がおなかの中に入れたポートに装着され、それを先生がサージョンコンソールに入って操作して手術をする。

大きい特徴としては、3次元で非常に鮮明な画像で

## 「ダビンチ」術後痛み減

### 「からだにやさしいロボット手術」前立腺がんの手術について」

川島病院泌尿器科主任部長 神田 和哉

手術支援ロボットは1999年にアメリカの会社によって初代のダビンチが完成。日本では2012年に前立腺全摘術において、保険診療でのロボット手術が可能となり、その後、いろいろな疾患においても保険診療で手術ができるようになった。

手術の流れとして開腹手術では患者さんへの負担が大きかった。腹腔鏡手術になつて患者さんへの負担は減少したが鉗子の手ぶれなどがあつた。ロボット手術になると、内視鏡と遠隔操作のアームで手術を行い、身体への負担は少なく、また手ぶれなどが解消して細かな操作が可能となつた。

ダビンチ手術の長所としては、一つは身体への負担が少ないということ。傷が小さく、術後の痛みは軽減される。出血は少なく基本的には輸血は不要で、合併症もあまりない。開腹手



# 5大がん「住民検診」で

## 「知らなきゃソン！命を守る、

## 早期がんをラクしてみつける正しい検診の選び方」

川島病院消化器内科医長 三好 人正

術と比べ術後の回復は早い。また高画質の3D画像で手術が行えるという。従来の開腹手術や腹腔鏡手術では見えなかった局所解剖を理解することもできる。次に精密な動きが可能ということ。ダビランチの鉗子は可動域が大きく、手ぶれ補正機能を備えているため正確な患部の切除が可能となった。

次に前立腺がんに対する前立腺全摘術についてだが、手術は前立腺を摘出し、ぼうこうと尿管、こう道を吻合する。開腹手術ではいかにして出血を少なくするかがポイントだったが、ダビランチ手術となつて出血はわずかとなった。また、精密な手術が可能となったため尿失禁の頻度は減少したが、それでも可能性はあるため、いかにして尿失禁をなくすかがポイントになっている。

難しい手術だった前立腺全摘術は、ロボット手術になり、手術の敷居は低くなった。また手術の侵襲が少なくなり、合併症も少なくなったことから、身体に優しい手術が可能となった。そして、より精度の高い手術が可能となった。

がんは身近な病気です。2人に1人が将来がんになる。そもそもがんの原因は加齢などにより遺伝子が傷つくことなので避けることは難しい。驚くことに健康な人でもがん細胞は毎日5千個もできているが免疫細胞が戦ってくれている。もし1個でもがん細胞が生き残れば細胞分裂でどんどん大きくなるが、幸い1〜2センチで早期に見つけばほとんどのがんが治る。

ただし早期発見できるチャンスはたった1〜2年なので、がん検診も1〜2年ごとに。まずは高コスパの「住民がん検診」を受けてほしい。全部しても1万円以下で5大がんを調べられる。徳島市では血液検査で前立腺がんも早期発見できる。その他、早期肺がん発見には低線量CT、早期胃

がんには胃カメラ、早期大腸がんには大腸カメラがおすすめ。しかし死亡率が非常に高く怖い膵臓がんは自治体の検診はない。膵臓がんは皆さん自身で積極的に病院に来て検査をしてもわからないと早期発見は無理。

実は全てのがん死亡の約6割が消化器がん、がん対策のキモは消化器がん対策。しかし消化器がんはエコー、MRI、胃カメラ、大腸カメラ、カプセル内視鏡などの検査の組み合わせで全て詳しく調べられる。当院で全国に先駆けて始めた「消化器まるごとがん検診プラス」は早ければ1時間足らずの検査で非常に楽に消化器ほとんどの検査プラス大腸ポリプ治療まで可能。

最後に、がん検診を後回しにしてい

る全ての方へのお願い。あなたの大切な人生、大切な周りの人のためにも、助かるがんを放っておくのはもったいない。1〜2年にたった1日のがん検診を後回しにするのはどうかおやめください。



## 「心臓病の低侵襲検査とカテーテル治療」

川島病院循環器内科部長

飛梅 威



腎機能を表す検査値が二つある。一つは血清クレアチニン、もう一つがeGFR。eGFRは60以上が正常。値が小さくなるほど腎機能が悪いということを表す。九州大学が福岡県の久山町で12年ぐらいいかけ、eGFR60以上の腎機能の正常な方と60以下の腎機能障害のある方を調査し、心臓血管病がどの程度発症したかを調べたところ、男性女性にかかわらず、腎機能障害のある人は、ない人に比べて約3倍近く心臓血管病が発症することが分かった。

心臓血管病の主な要因である、心臓の筋肉に酸素や栄養を送る冠動脈の病変をいかに低侵襲かつ早く見つけて治療につなげるかが大事になる。

冠動脈の詳しい検査は、CTの機能が良いので、冠動脈CTでの非侵襲的な検査が主流となっている。入院は必要なく外来で検査をすることが出来る。ただ、造影剤が必要だ。造影剤は腎機能が悪い方に使う

と透視導入のリスクが高まる。ことが知られている。だから腎機能障害がある場合は、造影剤を使用しない、より低侵襲で腎臓に優しい検査が必要となる。

そういった検査で現在行われるものとしては、冠動脈のMRA。これはMRIでの検査になる。あとは心臓核医学検査。これはラジオアイソトープを用いた検査になる。冠動脈MRAと心臓核医学検査を組み合わせることで、造影剤を使用せずに冠動脈CTにかなり迫るくらい冠動脈の評価が可能だ。

心臓の血管に狭窄が見つかった場合には心臓のカテーテル検査や治療が必要となる。冠動脈疾患だけでなく腎機能障害を有する方に多い不整脈においても、最近では技術が進み、多極カテーテルを用いることで、造影剤を用いることなくCTと遜色ない3Dマッピング画像を得られ、侵襲度が下がっている。

## 「フレイル（虚弱）を予防し、元気に長生き」

徳島文理大学保健福祉学部教授

鷲 春夫氏



フレイルは高齢者の筋力や活動が低下した状態で、虚弱と言う。要介護状態の前の段階だ。早期に発見して早期に対策を打つと、要介護状態になることを予防し、また元気な状態に戻ることも分かっている。

フレイルの原因の一つが筋肉の衰え。対策には多面的運動トレーニングと言つて、いくつかの運動の組み合わせが最も効果があるようだ。だからウォーキングをしている方はプラス筋トレをすると効果が高くなる。

また、認知症予防で今注目されているのが運動。全く運動しない方と比べ、ウォーキングを週3回している方は認知症発症リスクが約3割減ると言われている。さらに大事なのは頭を使うことで、有酸素運動をしながら頭を使う「二重課題運動」を勧めたい。例えば歩きながらしりとりや計算をするのでも構わない。県内で推奨されているいきいき1

00歳体操は、2023年6月時点で、県内全市町村約500カ所で行われている。毎週、近所の公民館等が集まって、DVDを見ながら筋力作りなどの運動をする。いきいき100歳体操には運動と栄養と社会参加、フレイル対策の3本柱が全て含まれている。

体が弱るから社会参加が減るのではなく、社会参加が減るから弱っていく方が多いと考えるべきなので、今日行くところとか用事をしっかり作ることが実は元気で長生きするために重要と分かってきた。

肥満の解消や運動、禁煙と同等以上に重要なことは人とのつながりだ。年を取るほど大事な人とのつながりがなくなるので、遠くの親戚よりも近くの他人が重要。自分が住んでいる地域で親しい年代の違う友人をいかにたくさん作るか、これが実は元気で長生きするためには非常に重要だ。

## 造影剤使わず病変発見

## がん早期発見から 生涯健康サポートまで

がんの多くは消化器でおこります。消化器は生きるために栄養を得ることも重要な臓器です。生まれた時から毎日毎日、何度も外から異物を摂り入れ続け、消化器は休むことなく、様々な発がん物質や毒素や細菌などに触れています。実は全てのがん死亡の約6割が消化器がん、がん対策のキモは消化器がん対策と言えます。

です。皆さんの中には「助からないがん」とあきらめてしまっている方が多いかもしれません。が、1cm以下で見つければ実際は8割の方が助かります。胃がん検診や大腸がん検診が全国的にこれほど普及しているのに、大腸がん、胃がんに次いで死亡数が多く、怖い胃がんに決して忘れないでください。当院では胃がんを1cm以下で早期発見する取り組みを行っています。全国に先駆けて始めた「消化器まるごとがん検診プラス」は早ければ1時間足らずの検査で、寝ている間に、すい臓を含めた消化器ほとんどの検査「大腸がんの芽」である大腸ポリプの治療までが一度に可能です。目覚めた時には検査から治療までがすべて終わっていますので非常に好評をいただいております。

## がんの多くは 消化器で発生



## 早期がんであれば、 ほぼ完治できます

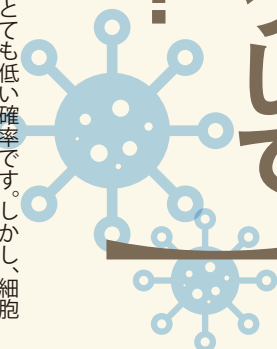
現在の最新の医療を駆使すれば、がんはもはや不治の病ではありません。がんは1〜2cm、つまり早期発見すれば、どのがんもほぼ完治が可能な時代となっています。当院では様々な検査機器（エコー、CT、MRI、胃カメラ、大腸カメラ、超音波内視鏡、カプセル内視鏡など）で全身のがんの早期発見に注力しています。さらに、万が一がんが見つかった場合には、迅速な治療をサポートいたします。

医師  
三好 人正



## 川島病院の“少人数限定” プライベート人間ドック

## がんはどうして できるの？



日本人の2人に1人は将来がんになります。欧米では減っているのに我が国は何十年も前から世界一のがん大国と言われています。それなのに他人事で済ましていませんか？  
がん対策の第一歩はがんを知ることです。よく考えていただければ、「とにかく検診が一番大事」ということがお分かりいただけます。  
私たちの体は約60兆個の細胞からできており、そのうち毎日1兆個が細胞分裂と細胞死によって入れ替わり、新陳代謝します。人のすることです。つまりはつきもので、遺伝子のコピーミス（遺伝子変異）が100万分の1の確率で起きてしまいます。私たちの体は約2兆個の遺伝子のうち、がんに関する大切な遺伝子が100個ほどありますので、そのがん遺伝子のどれかが傷つくとがんの原因となります。  
私たちの遺伝子のコピーミスが起る100万分の1という確率は、日常生活で言えば、乗っている飛行機が墜落してしまう、外を歩いていて雷に打たれてしまうのと同じくらい

のとても低い確率です。しかし、細胞レベルの話では決して無視できない確率なのです。私たちの体の中で毎日がん細胞がどれほど産まれているかを計算してみましょう。1兆÷100万÷2万×1000=5000、なんと驚くことに健康な人でも5千個のがん細胞が毎日毎日発生しているという計算になります。  
遺伝子が傷つく原因は他にもたくさんあります。たばこ、紫外線、揚げた食べ物、最近ではフライドポテトやポテトチップスなどにも発がん物質が多く含まれていることが分かっています。しかし、一番、遺伝子が傷つく原因が加齢です。ですので、どんなに健康的な生活を気をつけていても、がんから逃げることはできないのです。  
今も、皆さんの体の中には数千個のがん細胞がかけめぐり、免疫細胞が頑張っている状態です。しかし、不運にも1個でもがん細胞が生き残ってしまうと、どんどん増殖し続けます。

## 早期がんを 発見できるチャンスは たった1〜2年



こうして生き残った、たった1個のがん細胞は1個から2個、2個が4個、4個が8個と倍々ゲームのように細胞分裂します。1年間で細胞分裂を3回くらいしますと、10年かけて30回の細胞分裂で10億個（2の30乗）に、やっと直径1cmのがんになります。この段階になって初めて検査で

発見できるようになります。しかし一旦1cmの大きなになると、そこからはたった3回の分裂（1〜2年）で2cmになります。早期がんは2cmくらいまでをさします。早期がんで見つかるチャンスがこの1〜2年、がん検診を1〜2年毎におすすめる理由です。



## 少人数限定による お一人おひとりに寄り添った プライベート人間ドック

当院のドックは、「検診人数を1日1組（1〜2人）に限定」したプライベート人間ドックです。受診者お一人おひとりを大切に、手厚いサポートを提供致します。快適な検診空間で、プライバシーに配慮し、ゆったりと検査していただけます。ご自身の気になる症状や既往歴に合わせた検査を担当ドクターと相談していただき、追加項目もお選びいただくことが可能です。

## 結果を 丁寧に解説

検査後は、すぐに担当ドクターから結果をお知らせするとともに、管理栄養士も日ごろの栄養管理や生活習慣改善につきまして親身に個別相談させていただきます。心配な症状がある場合にはお気軽にご相談ください。受診が2回目以降の方は、過去の検査データと比較し、データの推移をわかりやすく説明いたします。データ分析から次回の適切な検査項目も相談させていただきます。

## 生涯頼れる健康支援 アドバイザーを目指します



検査で急ぐ病気が見つければ、即日、治療を開始することもできます。再検査やさらなる精査が必要な場合には、当院専門外来を予約いたします。体に関するお悩みや不安が生じた際には担当ドクターにお気軽に電話相談することもできます。担当医が身近にすることで、万が一のときも早期治療につながります。川島病院の少人数限定プライベート人間ドックで皆さまの生涯にわたる「健康」と「安心」をサポート致します。



## 人間ドックにおける

## 消化器内視鏡検査担当看護師の関わり

看護師 近藤 恵



当院で行っている人間ドックの項目のうち、私が関わっているのは消化器内視鏡検査です。検査内容は、胃内視鏡検査・超音波内視鏡検査・大腸内視鏡検査で、ほとんどの患者が鎮静下での検査を希望されます。

人間ドックは早期発見・早期治療を目的とした予防医療の一環であり、消化器内視鏡検査は特に胃・大腸・膵臓や胆のうといった消化器の病変を早期に発見するために重要です。看護師はこの検査プロセスにおいて、患者の身体的・精神的ケアを提供し、検査の円滑な進行をサポートする役割を担っています。

まず、事前準備から始まります。消化器内視鏡検査は、胃や大腸の中を直接観察するため、検査前に正しい準備を行うことが不可欠です。事前に患者の身体状態や病歴などの情報収集を行い、検査においての注意点をスタッフ同士で共有します。患者来院時には検査についての説明を行い、検査前の不安や疑問に対して丁寧に、患者がリラックスして検査に臨めるように配慮します。

次に、検査中のサポートがあります。消化器内視鏡検査は身体的に不安な経験であり、不快感を感じる患者も少なくありません。看護師は医師や臨床工技師、看護助手と連携しながら、患者ができる限り快適に検査を受けられるように努めます。鎮静剤を使用する場合は、患者の状態を注意深く観察し、異常がないかを確認しながら検査をすすめます。また、検査中は患者の姿勢を適切に調整し、内視鏡のスムーズな操作をサポートします。特に長時間にわたる検査では、患者の体位によつては不快感や痛みが生じる場合があるため、枕の使用や体位変換等の確な対応が求められます。

さらに、衛生管理と感染対策も看護師の重要な役割です。内視鏡は体内に挿入される医療器具であり、厳格な管理が必要です。内視鏡の使用後は適切な洗浄を行い、次の患者に使用する際に感染リスクがないようにすることが求められます。看護師はこれらの洗浄管理が適切に行われていることを確認し、常に清潔な状態

を保つことで感染防止に努めます。また、検査中の防護具の適切な使用、手洗いの徹底など基本的な感染対策も厳守する必要があります。

検査後のフォローアップも看護師の大切な役割です。消化器内視鏡検査後、鎮静剤を使用した患者はしばらく安静が必要です。この間、看護師は患者の状態を確認します。また、検査結果について医師から説明が行われる際、患者がしっかりと理解できるようにサポートします。特に異常が発見された場合、患者は大きな不安を抱くことが多いため、声をかけ心理的ケアも行います。必要に応じて追加の検査や治療のスケジュール調整を行う場合もあります。

まとめると、人間ドックにおける消化器内視鏡検査担当看護師の関わりは、患者の安心感を高め、スムーズな検査運営と予防医療に貢献するために必要です。「安心して受けることができました」「今日やってよかった」という言葉を励みに日々内視鏡看護を行っています。

# 2024年度 事業計画 川島ホスピタルグループ



## 1へき地医療の支援

①引き続きへき地診療所に医師派遣を行い、へき地における医療の確保に貢献する。

## 2診療内容の充実

①透析患者数の停滞が予想される中で診療科目の拡大に努める。

②診療圏の拡大などにより外来診療を強化する。

③有料老人ホームシルバーハイツ飛鳥及びケアハウスあすか入居者の人工透析治療を行う患者に対し、川島透析クリニックにおいて適切な医療を提供する。

④各分野で、より専門性の高い診療を提供する。

## 3透析患者の確保

①通院支援を強化し、外来透析患者の利便性の向上に努める。

②有料老人ホームシルバーハイツ飛鳥への入居を案内し、外来透析患者を確保する。

## 4歯科診療による患者ケアの充実化

①全身疾患を有する患者の歯科治療を実施する。

②入院患者の口腔ケアと摂食嚥下障害への対応を行う。

③周術期等における患者の口腔内管理を実施する。

## 5旧川島病院の1・2号館の再利用計画の推進

①1号館を解体し駐車場を整備し供用する。

②2号館は改修工事を行い1階に医療支援部を移転し、3階は賃貸する。

③2号館未使用エリアの再利用を検討する。

## 6川島病院の健診事業の強化

①がん人間ドック、銀行職員の人間ドックに加え、新たに公立学校共済、市町村職員共済の人間ドックを開始する。

## 7職員数の確保

①円滑な業務執行のため適切な職員数の確保を行う。

②特定技能実習生や技能実習生を受け入れる。

③修学資金により医療職を目指す学生を支援し医療職確保に繋げる。

## 8災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進

①透析患者の高齢化に伴い、増加が想定される透析中の抜針事故防止対策の強化を図る。

②医療事故防止のため、勉強会の開催等を通じ職員の技術能力の向上を図る。

③大規模震災を想定しての定期的対応訓練及び災害に備えての準備を実施する。

④各種手順やマニュアルの周知徹底及び実行を促進する。

⑤対策月間設定等による全職員に対する啓発、教育を強化し充実させる。

⑥震災対策会議を開催し内容を一層充実させる。

## 9教育・研究活動の強化と支援

①新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容を充実させる。

②KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加を奨励し支援する。

## 10地域社会との交流や関連施設との連携の強化

①健康・福祉フェスタを実施し内容を一層充実させる。

②震災対策会議を開催し内容を一層充実させる。(再掲)

③広報誌を継続発行し内容を一層充実させる。

④ホームページの内容を充実させタイムリーに更新する。

⑤市民公開講座を開催する。

## 11病院・クリニックで、具体的な2024年度事業計画を策定する

# 精度向上を目指した

# 当院の腹部エコー検査



臨床検査技師

吉川 由佳里

超音波検査(エコー検査)では、主に消化器領域(肝臓、胆嚢、胆道、膵臓、脾臓)、泌尿器領域(腎臓、膀胱、前立腺)について、各臓器を観察し、病変の有無を確認します。当院の人間ドック時に行う腹部エコー検査は、全例、胃充満法(飲水法)で膵臓精査を行っています。腹部エコー検査は、検査の特性上、胃や大腸の消化管ガスが多いと臓器の観察が難しくなります。特に膵臓は消化管ガスによる影響を受けやすい臓器のため、飲水により胃を拡張し、消化管ガスの影響を軽減することで膵臓が観察しやすくなり、病変が発見しやすくなります。全例での飲水法による膵臓精査は、当院人間ドックならではの取り組みです。

また、検査を担当する技師は、定期的に外部の勉強会や講習会に参加し、部署内においても専門医との症例検討会を行うことで知識や技術のアップデートを行っています。今後も、より精度の高い検査が実施できるように努めたいと思います。

## 人間ドック 各コースの検査項目のご紹介

| コース名        |                   | 基本                           | 基本 + 大腸内視鏡 | 基本 + 脳ドック | 全身       |
|-------------|-------------------|------------------------------|------------|-----------|----------|
| 日数          |                   | 1日                           | 2日         | 1日        | 2日       |
| CT          | 全身(頭部・胸部・腹部・骨盤部)  | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| MRI(MRA)    | 頭部・頸部             |                              |            | ●         | ●        |
| 超音波         | 腹部(肝・胆・膵・腎・脾など)   | ●                            | ●          | ●         | ●        |
|             | 甲状腺               | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 内視鏡         | 胃内視鏡              | ●                            | ●          | ●         | ●        |
|             | 大腸内視鏡             |                              | ●          |           | ●        |
|             | 迅速ウレアゼ試験(ピロリ菌)    | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 身体測定        |                   | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 血液検査        |                   | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 尿検査         |                   | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 腫瘍マーカー      | CEA、CA19-9        | ●                            | ●          | ●         | ●        |
|             | PSA(男性)、CA125(女性) |                              |            |           |          |
| 心電図         |                   | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 便潜血検査       |                   | ●                            | ●          | ●         |          |
| 医師面談        |                   | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 栄養指導        |                   | ●                            | ●          | ●         | ●        |
| 超音波内視鏡(EUS) | すい臓・胆のう・胆管        | 【オプション】すべてのコースに+20,000円で追加可能 |            |           |          |
| 料金(税込)      |                   | ¥60,000                      | ¥79,000    | ¥83,000   | ¥100,000 |

詳しくは  
ホームページへ





本藤 秀樹 医師

## 心を鍛え、技を磨く居合道

毎週土曜日に板野町の体育館で「居合」の稽古をしています。8年前に川島病院に奉職して始めました。吉田愛二先生(徳島県居合道連盟の会長)に教えてもらっています。会員は約50名います。最近「鬼滅の刃」の人気ので、若い女性も参加しています。初伝、中伝、奥伝(立ち技と座り技)があり、技が全部で50本近くあります。現在奥伝を稽古しています。始めた当初は模造刀で稽古をしていましたが、現在は真剣で稽古をしています。真剣は大阪の武道具店にゆき、何本が実際に振ってみて、振りやすい刀を購入しました。昭和56年に岡山の刀匠が作った中古の刀です。刃渡りが2尺4寸1分(約73cm)、重さが約1kgあります。登録証があれば、持つことができます。体育館は冬寒く、夏熱いですが、心身の鍛錬に役立っています。「居合」に興味がある方は声をかけてください。年齢、性別は問いません。一緒にやりましょう。

幸木 玲奈 外来クラーク

## お菓子作りで心を満たす

私はストレス発散のためによくお菓子作りをします。ここ最近ではバスクチーズケーキやパウンドケーキ、カヌレを作りました。いろんな種類を同時進行で作っていくのが特に楽しいです。オーブンを温めている間に粉をふるって混ぜて、焼いている間に次に焼く生地を作って…といかに効率よく進めるかを考えてその通りにすすめることができると快感です。ただ、作って満足するため作り終えたあとのお菓子里に毎回困ります(笑)そんなときは外来に持参するとみんなが食べてくれるので助かっています。次は一度失敗したスフレチーズケーキを作る予定なので成功した場合は外来に並ぶ予定です。



桶谷 亜由、田中 千尋 外来クラーク

## アウェイで感じる、勝利の喜び

私たちには共通の趣味があります。それは徳島ヴォルティスの応援です。好きな選手は、徳島市出身の西野太陽選手です。本来はFWの選手ですが、昨年からSBとして起用され、不慣れなポジションながらも勝利のために必死に頑張っているところが好きです。ホームの試合はもちろん、アウェイの試合にも応援に行きます。今年は長崎、静岡、岡山、大分、甲府、愛媛、山形、横浜、山口に応援に行き、そのうち6試合勝利を見届けることができました。ホームで勝つのも嬉しいですが、アウェイで勝つのは最高に楽しいです!!テレビで観戦するより現地で応援の方が何倍も楽しいので、これからもいろんなところに応援に行って推し活を楽しみたいです。



大津 裕美 看護師

## 小さな番犬、大きな癒し

うちには2頭のチワワがいます。チャロ(オス4歳)と紬(つむぎ メス2歳)です。たまに連れていくドッグランで遊ぶのが大好きです。チャロの性格は内弁慶で緊張しやすくマイペース。紬はにこにこ愛想がよく、怖がりです。2頭ともとても可愛いです。基本は部屋の中で自由に過ごしおとなしくしていますが、宅配や郵便が来たら小さな体でびっくりする大きな声で吠えることがあります。番犬の役目もなんとかこなしてくれています。こんな2頭のお世話をすることが私の楽しみであり、一緒に過ごすことが癒しの時間です。



憧れのインド 戸田 己記 看護師

2023年夏、コロナ明け初めての行動制限のない夏休みかねてから行きたかったインドへの旅行が実現しました。私が初めてインドに興味を抱いたのは大学生の時、沢木耕太郎の「深夜特急」を読んだ頃からです。バックパッカーに憧れ、リュックサック一つで世界中を旅したいと夢みていました。大学時代、アメリカ大陸、東南アジア・東アジアは制覇したものの、何故かあれほど憧れていたインドは行くことがなく月日だけが過ぎていきま。コロナ禍での行動制限を経て、そのうち行こうは二度と行けないかもしれないと身をもって学び、今回のインド行きを決意しました。インドは広く、短い休みでは到底まわることはできないため、首都である「デリー」、タージマハルのある「アグラ」、ガンジス川のある「パナラシ」の3都市に決め、カオスと言われる寝台列車にも乗ってきました。実際のインドは私が思っていたよりずっと都会でした。それもそのはず、私が初めてインドに興味をもち色々調べていたのは遥か30年も前です。インドでは神と崇められている道端の牛もほとんどみかけませんでした。その代わりに今のインドは車とリキシャのクラクションが鳴りやまない喧騒に包まれていました。それも又インドの魅力の一つです。現在のインドはカースト制度も廃止され、昔とは違うとのことでしたが、やはりカーストの名残はあり、身をもって感じることができました。インドは一度行くとインドの魅力に憑りつかれる人と二度と行きたくないという人がいると聞きます。その理由は実際に試みて理解できました。もちろん、私は前者であり、次にインドを訪れる日を今から楽しみにしています。



# 職員 の 素顔

True face of STAFF

松本 琴弓 臨床検査技師

## バンドやろう!

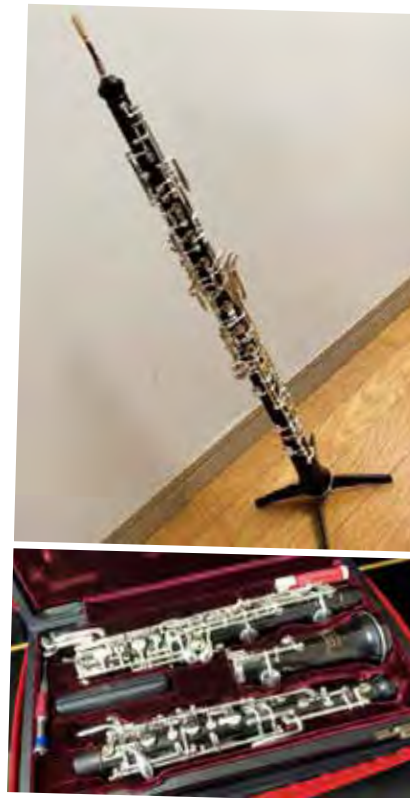
ギターは中古で買ったMomoseのジャズマスです。低音が綺麗に響いて安定感があります。エフェクターは先輩からもらったLeqtiqueの9/9が格好良く歪むのでお気に入りです。部活ではリーガルリリーやSUPER BUTTER DOGのコピパンをしていました。次の11月、3月のライブにも出る予定です。まだ入職したばかりですが、軽音も続けたいと思っているので、川島病院の方とも是非バンドを組んでみたいです…!



- 健康・福祉フェスタ
- 阿波踊り
- 慰安旅行  
・沖縄・広島・USJ
- バーベキュー大会
- 部活・サークル紹介



## True face of STAFF



織野 佑仁花 外来クラーク

中学生の時に会った、オーボエという楽器に魅了され、そこから本格的に音楽について学んできました。オーボエはあまり認知されていない楽器ですが、「世界一難しい木管楽器」としてギネスに載っています。「リード」という2枚の木の板を合わせたものを使用しており、吹き口が4mmほどしかなく、音を出すのが難しいところが主な理由のようです。オーボエに出会ってから12年が経った今でも、上手に演奏するのは難しいと感じます。私がオーボエで一番好きなところは音です。明るい、でもどこか物悲しいような、そんな音に魅了されました。曲だと、バレエ音楽の「白鳥の湖」や、ジブリ魔女の宅急便の「海に見える街」が有名です。皆さんも一度は聴いたことがあるのではないのでしょうか。私のおすすめの曲は「風笛」という曲です。曲調も優しく親しみやすいので、オーボエの魅力がわかる曲だと思います。興味のある方はぜひ聴いてみてください。私は現在も社会人団体へ入団し、演奏会やコンクールに臨んでいます。今年のコンクールは全国大会へ出場することができ、北海道にて演奏してきました。これから可能な限りずっと、オーボエを続けていきたいと思っています。

松井 美夏 看護師

私は、幼いころから動物と一緒に生活をしてきました。今でも飼っていますが猫、犬、ウサギ、魚と多くの生き物が私の身の回りにいます。現在、私は14匹の保護猫と、2匹のかわいい地域猫と、犬2匹と暮らしています。14匹の猫にはそれぞれ名前がついており、個性豊かで性格もそれぞれで違っており、ものすごくなついてくれる子もいれば、餌を与えるときだけ甘えてきて、後は塩対応のときがある子もいます。それ毎日かわいくて癒しとなっています。地域猫については、元々が野良猫で、ある保護猫団体の方と協力をして去勢手術をし、「地域猫」として地域で生活しています。実際に保護猫団体に依頼をし、野良猫たちがこれ以上増えないよう、そして不幸になってしまう動物たちを少しでも減らし、住み慣れた地域でその猫が最後まで生きられるようにすることの大切さ、かわいいだけでは動物を飼うことはできないと改めて命の重要性を知るといった機会となりました。私は、多頭飼いをしている身として、命の重要性について十分に把握し、世の中には今回関わったような命を守る活動を善意でしてくださっている団体があるということを知ってもらい、今後の保護猫活動につなげていきたいと思いました。





移転後2年目となるフェスタは、素晴らしい秋晴れの中で開催されました。院内外で新しい企画を準備し、多くの皆様に楽しんで頂けました。また次回も楽しいイベントになるよう、準備したいと思います。

フェスタ準備委員会委員長 川島友一郎



- メインステージプログラム**
1. 和太鼓演奏(鼓達)
  2. コーラス(ピンクフラワーズ)
  3. ジュニアダンス(徳島市体育振興公社)
  4. 防災講座  
地震体験マット“ユレタ”紹介
  5. AED講習・救急処置 模擬実演
  6. 阿南第一中学校 吹奏楽部
  7. バレーダンス
  8. リハビリ講座
  9. 阿波踊り(徳島文理大学連)
  10. お楽しみ抽選会





# AWA ODORI

縁あってこちらに赴任し、阿波踊りに参加させていただくことができました。数カ月前から業務後の練習に多くの方が参加しており、周囲に圧倒されながら私も踊りを覚えました。拙いながらも連の一員として踊りに参加させて頂いたことで、夏の暑さの中、応援の方々の熱量にのみれ病院のみならず地域との一体感をひしひしと感じました。踊りの熱狂は人生で忘れる事のない貴重な経験となりました。上達してまた参加したいと思います。

医師  
宮坂 嶺



## 主な催し

- ◎まんぷく模擬店  
おでん、焼きそば、うどん、からあげ  
フランクフルト、フライドポテト  
ケーキ、飲み物、もちつき、ぜんざい
- ◎郷土グルメコーナー  
タローパン、御菓子司たけもり、  
bonne chanceイトオカシ、リベルテ  
クレール
- ◎ゲームコーナー  
バルーンアート、ピンポンカップ  
ヨーヨー釣り
- ◎介護機器展示コーナー
- ◎シルバーハイツ&ケアハウス  
入居&介護相談コーナー



他県出身のため今回初めて阿波踊りに参加しました。阿波踊りを踊ったことも、実際に見たこともないため何もわからない状態で練習に参加しました。最初は全く踊れませんでした。が、娯茶平連の方が踊り方を丁寧に教えて下さり徐々に上達していきました。当日は観客の多さや他の連の盛り上がりには驚きましたが、あまり緊張もせずに練習の成果を発揮し職員の方々と一緒に踊ることができました。貴重な思い出になりました。

阿波踊り参加は初めてで不安もありましたが、娯茶平の方々のご指導や手厚いご支援のおかげで、楽しく踊ることができました。練習を続けていく中で、最初は足や腕が痛くて慣れないこともあったのですが、少しずつ踊りが上達して本番で長い距離の両国の演舞場で踊りきれた時は、達成感を感じられて、貴重な経験になりました。川島病院のたくさんの職員の方と交流しながら阿波踊りを楽しむことができて、いい思い出になりました。

臨床工学技士  
松本 悠希



臨床検査技師  
原 美月





**川** 島病院に入職して、初めての慰安旅行に参加させていただきました。

初日と2日目は天候に恵まれず、大雨になりました。しかし、沖縄の美味しい食事やお酒を堪能することができました。3日目は快晴に恵まれて、レンタカーを借りて沖縄の街を移動しました。お昼は沖縄でも人気の沖縄そばのお店「古家」に向かい、開店直後でしたが1時間の待ち時間がありました。味は今まで食べた沖縄そばの中で一番美味しかったです。

その後は、青の洞窟に向かいシュノーケルを楽しみました。海は海底まで見えるほど透きとおって綺麗でした。魚に餌をあげながら、青の洞窟に向かい写真撮影を行いました。

洞窟からの帰りは、風と波が強くなり途中で遊泳禁止になりましたので目的地まで泳いだので運がよかったです。夜は国際通りで沖縄の最後の夜を楽しみました。

4日目は昼過ぎには、空港に向かい沖縄の4日間は充実した旅行になりました。

臨床検査技師／日野純樹



歯科医師／川島友一郎



**私** 自身初めての国内慰安旅行は呉、広島市内、宮島、今治をバスで旅しました。呉では、海上自衛隊創設70周年記念事業の護衛艦特別公開があり、間近でみる船に圧倒されました。前日までの雨が嘘のように抜けるような、青すぎる青空に護衛艦が映え、最高でした。今回の旅行のハイライトでした。艦間はTシャツで過ごせるほど暑かったんですが、遊覧船ツアーでは、心地よい風をうけて心身ともにリフレッシュしました。

2回も年下のスタッフやお馴染みの皆さんと一緒に、昼間からお酒をのんで、お腹いっぱい美味しい料理を食べて、街を歩いて、たくさん写真を撮って、馬鹿みたいなにはしゃぎました。広島へ旅行しただけに、平和に楽しく過ごせるのはなんて幸せなんだろうと実感した3日間でした。



広島3日間



バーベキュー大会



## 昨

年度より再開となった四国三郎の郷でのバーベキュー大会！  
 昨年に引き続き今年も無事に7月14日(日)に開催することができました。  
 今年は生憎曇り空の中での開催となりましたが大勢の職員や職員家族が参加してくださり、それぞれお酒やジュースを飲みながらおいしいお肉を堪能しました。  
 参加した子供たちも毎年恒例のスイカ割りやじゃんけん大会に参加しとても楽しそうでした！私は今年初参加だったので、成人してからバーベキューをした記憶が無かったため、自分たちで火をおこして食べるお肉は格別においしかったです。  
 また普段関わる事が少ない職種や各クリニックの方々、もちろん普段病棟で一緒に勤務している同僚や先輩方と食べたり飲んだりするのはとても楽しかったです！(もっとも、私は自家用車で参加の為残念なことにアルコールは摂取できませんでしたが...)  
 来年はぜひとも快晴にてバーベキュー大会が開催できることを楽しみにしつつ、もう1年職務に励みたいと思います。

看護師／柳萬大希

[慰安旅行]

# UNIVERSAL STUDIOS JAPAN



## USJ 1日旅行

USJに行ってきました！私は長女と二人で参加させていただきました。  
 長女が生まれてからコロナ禍であつたため、あまりテーマパークなどに行けておらず、今回の慰安旅行を長女も私もすごく楽しみにしておりました。  
 場内はハロウィンシーズンのため仮装をしたお客さんでいっぱい！娘の笑顔もいっぱい見られて嬉しかった一日でした。少し肌寒い秋らしい天気で過ごしやすかったです。

理学療法士／山本晃平

## 川島ホスピタルグループ

# 2023～2024年 資料編

- プロフィール
- 医師・職員取得資格
- 医師・職員院外団体等役職
- 職員数
- 座長、司会等
- 診療統計等



## 川島会バレーボール部

volleyball

### 復活！

2015年6月より職員の運動不足解消やコミュニケーション向上を目的としてバレーボール部を結成。2024年コロナ禍の制限が緩和され、職員・職員家族で練習を再開し、5年ぶりに実業団連盟主催の大会へ参加しました。

【結果報告】7月7日第58回米村杯争奪ミックス大会1回戦敗退、9月15日第53回職場対抗ミックス大会3位決定戦敗退、10月27日第45回産業人ミックス大会3位決定戦敗退、オリンピックバレーと同様、“あと1点”が取れず悔しい思いをした一年となりました。健康な体作り、職場でのより良い環境作りのために邁進してまいりますので、引き続き川島会バレーボール部へのご声援をよろしくお願いいたします。

クラーク／藤澤真弓



部活・サークル紹介

### 誰でもOK! 気軽に楽しもう

徳島市島田河川敷グラウンド(4月～12月)で月2回、曜日はランダム、19時～21時行っています。野球を通じて川島会職員との親睦、健康増進や運動不足解消が目的で野球大会などには参加せず、楽しく笑いあいの野球を目指して活動しています。人数不足の為、知り合いも参加してもらいキャッチボール、ノック、フリーバッティング、紅白戦などを行っています。遊びの延長の野球なので未経験の方、ご家族の方など年齢、性別を問わず野球の興味のある方(お子さんなど)は是非ご参加お待ちしております。

医療支援部／川原 淳



baseball

## 川島会野球サークル

| 鴨島川島クリニックのプロフィール(2024年8月1日現在)                                                              |                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 標榜科目                                                                                     |                                                                                    |
| 腎臓内科、血液透析内科                                                                                |  |
| ■ 指定                                                                                       |                                                                                    |
| 保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療・育成医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定 |                                                                                    |
| ■ 届出事項                                                                                     |                                                                                    |

腎代替療法指導管理料、がん治療連携指導料、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素の購入価格の届出

| 鳴門川島クリニックのプロフィール(2024年8月1日現在)                                                         |                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 標榜科目                                                                                |                                                                                    |
| 内科、人工透析内科                                                                             |  |
| ■ 指定                                                                                  |                                                                                    |
| 保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定 |                                                                                    |
| ■ 届出事項                                                                                |                                                                                    |

がん治療連携指導料、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素の購入価格の届出

| 脇町川島クリニックのプロフィール(2024年8月1日現在)                                                              |                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 標榜科目                                                                                     |                                                                                     |
| 人工透析内科、糖尿病内科                                                                               |  |
| ■ 指定                                                                                       |                                                                                     |
| 保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療・育成医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定 |                                                                                     |
| ■ 届出事項                                                                                     |                                                                                     |

がん治療連携指導料、在宅血液透析指導管理料、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素の購入価格の届出

| 阿南川島クリニックのプロフィール(2024年8月1日現在)                                                                   |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 標榜科目                                                                                          |                                                                                      |
| 内科、血液透析内科、腎臓内科                                                                                  |  |
| ■ 指定                                                                                            |                                                                                      |
| 保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療・育成医療指定)、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、特定健診、身体障害者福祉法指定 |                                                                                      |
| ■ 届出事項                                                                                          |                                                                                      |

人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算1、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素の購入価格の届出

| 藍住川島クリニックのプロフィール(2024年8月1日現在)                                                         |                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 標榜科目                                                                                |                                                                                      |
| 血液透析内科、内科、循環器内科、糖尿病内科、泌尿器科、腎臓内科、外科、消化器内科、胃腸内科、肛門外科                                    |  |
| ■ 指定                                                                                  |                                                                                      |
| 保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定 |                                                                                      |
| ■ 届出事項                                                                                |                                                                                      |

外来感染対策向上加算、連携強化加算、がん治療連携指導料、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素の購入価格の届出

| 川島病院のプロフィール(2024年8月1日現在) |
|--------------------------|
| ■ 標榜科目                   |

内科、腎臓内科(人工透析・腎移植)、腎臓外科、泌尿器科(人工透析・腎移植)、循環器内科、循環器外科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、放射線科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、血管外科、脳神経外科、皮膚科、血液内科、整形外科

|                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 指定                                                                                                                    |
| 保険医療機関、救急告示、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療・育成医療指定)、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、DPC対象、介護保険法、特定健診／特定保健指導、身体障害者福祉法指定 |
| ■ 届出事項                                                                                                                  |

急性期一般入院基本料4、救急医療管理加算、診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算1 区分20:1、急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割以上)／夜間急性期看護補助体制加算30対1／夜間看護体制加算／看護補助体制充実加算1、療養環境加算、無菌治療室管理加算2、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算1、感染対策向上加算2／連携強化加算／サーベイランス強化加算、バイオ後続品使用体制加算、病棟薬剤業務実施加算1、データ提出加算2、入院時支援加算1／入院時支援加算、認知症ケア加算3、せん妄ハイリスク患者ケア加算、短期滞在手術等基本料1、入院時食事療養(I)／入院時生活療養(I)、初診料(歯科)の注1に掲げる基準、歯科外来診療医療安全対策加算1、歯科外来診療感染対策加算1、糖尿病合併症管理料、移植後患者指導管理料(臓器移植後)、糖尿病透析予防指導管理料、腎代替療法指導管理料、下肢創傷処置管理料、慢性腎臓病透析予防指導管理料、夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算2、外来腫瘍化学療法診療料2、ニコチン依存症管理料、がん治療連携指導料、薬剤管理指導料、医療機器安全管理料1、在宅血液透析指導管理料、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算、持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定、持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)、遺伝学的検査、抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)、検体検査管理加算(I)、検体検査管理加算(II)、時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト、ヘッドアップティルト試験、画像診断管理加算2、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算、心臓MRI撮影加算、外来化学療法加算2、無菌製剤処理料、心大血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(II)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算3及び腎代替療法実績加算、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢抹消動脈疾患指導管理加算、難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法、移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法、医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術)、経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)、大動脈バルーンパンピング(IABP法)、体外衝撃波胆石破碎術、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術、腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下腎盂形成手術、同種死体腎移植術、生体腎移植術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、輸血管理料II、輸血適正使用加算、麻酔管理料(I)、歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料、在宅患者歯科治療時医療管理料、有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査、歯科口腔リハビリテーション料2、クラウン・ブリッジ維持管理料、CAD／CAM冠、CAD／CAMインレー、酸素の購入価格の届出

|                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ■ 施設認定                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本腹膜透析医学会教育研修医療機関、日本アフェレシス学会認定施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設、日本透析アクセス医学会研修施設、日本甲状腺学会認定専門施設、日本腎臓学会認定腎臓移植施設、徳島県肝疾患専門医療機関 |
| ■ その他                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 地域連携室                                                                                                                                                                                                                                                   |



| 川島透析クリニックのプロフィール(2024年8月1日現在) |
|-------------------------------|
| ■ 標榜科目                        |

|                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------|
| 血液透析内科                                                                     |
| ■ 指定                                                                       |
| 保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定、身体障害者福祉法指定 |
| ■ 届出事項                                                                     |

がん治療連携指導料、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、導入期加算1、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素の購入価格の届出



|    |        |                                                                     |
|----|--------|---------------------------------------------------------------------|
| 医師 | 東 博之   | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医                                           |
| 医師 | 井内 貴彦  | 日本内科学会認定内科医                                                         |
| 医師 | 三好 人正  | 日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、臨床研修指導医 |
| 医師 | 福永 美穂  | 日本内科学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医                                             |
| 医師 | 高橋 千比呂 | 日本専門医機構認定内科専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医                                  |
| 医師 | 吉岡 伸治  | 日本医師会認定産業医、日本整形外科学会専門医、日本人工関節学会認定医、日本外傷診療研究機構JATECインストラクター          |
| 医師 | 日下 まき  | 日本医学放射線学会放射線診断専門医                                                   |
| 医師 | 城野 良三  | 日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本核医学会PET核医学認定医、日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医           |
| 医師 | 横田 綾   | 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医                                                     |
| 医師 | 西出 俊二郎 | 日本麻酔科学会指導医、日本麻酔科学会専門医、臨床研修指導医                                       |

|      |        |                                                                     |
|------|--------|---------------------------------------------------------------------|
| 歯科医師 | 川島 友一郎 | 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士                                                |
| 看護師  | 西分 延代  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                                      |
| 看護師  | 平野 春美  | 日本腹膜透析医学会指導看護師、認定看護管理者教育セカンドレベル                                     |
| 看護師  | 藤田 都慕  | 医療安全管理者                                                             |
| 看護師  | 秋山 和美  | レシピエント移植コーディネーター                                                    |
| 看護師  | 西川 雅美  | レシピエント移植コーディネーター                                                    |
| 看護師  | 戸田 己記  | 3学会合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師、腎臓病療養指導士、日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士 |
| 看護師  | 三宅 直美  | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、慢性腎臓病療養指導看護師                             |
| 看護師  | 西谷 千代子 | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、腎臓病療養指導士                                 |
| 看護師  | 数藤 ゆかり | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                                      |
| 看護師  | 笹田 真紀  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                                      |
| 看護師  | 松田 幸子  | インターベンション エキスパートナース                                                 |
| 看護師  | 森浦 弥生  | 3学会合同呼吸療法認定士                                                        |
| 看護師  | 加藤 美佳  | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士      |
| 看護師  | 前田 薫子  | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士                     |
| 看護師  | 白井 美江  | 徳島県糖尿病療養指導士                                                         |
| 看護師  | 岡本 真紀  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                                      |
| 看護師  | 楮山 祐子  | 日本看護協会認定看護師（感染管理）、感染管理認定看護師                                         |
| 看護師  | 北沢 梓   | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、医療安全管理者、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士             |
| 看護師  | 吉見 俊司  | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士      |
| 看護師  | 斎田 智未  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                                      |
| 看護師  | 佐々木 美和 | 日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士                                          |
| 看護師  | 大津 裕美  | 日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士、日本終末期ケア協会認定終末期ケア専門士                             |
| 看護師  | 森 朱世   | 徳島県糖尿病療養指導士                                                         |
| 看護師  | 上岡 理枝子 | 徳島県糖尿病療養指導士                                                         |
| 看護師  | 森 和代   | 日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士                                          |
| 看護師  | 数藤 康代  | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、腎臓病療養指導士、慢性腎臓病療養指導看護師                    |
| 看護師  | 有木 直美  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                                      |
| 看護師  | 小倉 加代子 | 日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師                                           |
| 看護師  | 三好 友美  | 徳島県糖尿病療養指導士、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士                         |
| 看護師  | 佐藤 裕子  | 日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師                                           |
| 看護師  | 福壽 悦子  | 日本糖尿病療養指導士                                                          |
| 看護師  | 小谷 明子  | 日本糖尿病療養指導士、心不全療養指導士                                                 |
| 看護師  | 酒井 紘子  | 日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士                                          |
| 看護師  | 日根 千鶴  | 日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士                                          |
| 看護師  | 亀川 佐江  | 徳島県糖尿病療養指導士                                                         |

|    |        |                                                                                                                                                                                                                              |
|----|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 医師 | 川島 周   | 日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医                                                                                                                                                                                                     |
| 医師 | 水口 潤   | 日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本腎臓学会認定指導医、日本臨床腎移植学会腎移植専門医、日本移植学会移植認定医、日本腹膜透析医学会認定医                                                                                                                         |
| 医師 | 西内 健   | 日本内科学会認定内科医、日本高血圧学会指導医、日本高血圧学会専門医、日本循環器学会循環器専門医                                                                                                                                                                              |
| 医師 | 本藤 秀樹  | 日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経外科学会認定医、日本脳卒中学会専門医、臨床研修指導医                                                                                                                                                                                 |
| 医師 | 西谷 真明  | 日本透析医学会透析専門医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医                                                                                                                                                                                 |
| 医師 | 岡田 一義  | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本腎臓学会認定指導医、日本腹膜透析医学会認定医、臨床研修指導医、日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士                                                                                                    |
| 医師 | 土井 俊夫  | 日本内科学会認定内科医                                                                                                                                                                                                                  |
| 医師 | 清重 浩一  | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本医師会認定産業医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本超音波医学会認定超音波専門医、日本救急医学会救急科専門医                                                                                                                        |
| 医師 | 深田 義夫  | 麻酔標榜医                                                                                                                                                                                                                        |
| 医師 | 坂東 弘康  | 日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会 呼吸器専門医、日本呼吸器学会 呼吸器指導医、日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医、日本アレルギー学会専門医、日本アレルギー学会指導医、日本禁煙学会専門医、日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医、日本感染症学会 感染症専門医、日本感染症学会 感染症指導医、日本プライマリ・ケア連合学会暫定指導医、インフェクションコントロールドクター（ICD）、臨床研修指導医、日本専門医機構 総合診療専門研修 特任指導医 |
| 医師 | 小原 卓爾  | 日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医                                                                                                                                                                                                       |
| 医師 | 長瀬 教夫  | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本医師会認定産業医、臨床研修指導医                                                                                                                                                                   |
| 医師 | 近藤 慎治  | 日本外科学会認定医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器外科学会認定医                                                                                                                                                                                       |
| 医師 | 岩坂 尚仁  | 日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器外科学会認定医、臨床研修指導医                                                                                                                                                                                |
| 医師 | 田代 学   | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本臨床腎移植学会腎移植専門医、日本透析アクセス医学会 VA血管内治療認定医、日本透析医学会 VA血管内治療認定医、日本腹膜透析医学会認定医、日本抗加齢医学会専門医、臨床研修指導医、日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士                                                     |
| 医師 | 井上 朋子  | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本腹膜透析医学会認定医                                                                                                                                                              |
| 医師 | 山口 純代  | 日本専門医機構認定内科専門医                                                                                                                                                                                                               |
| 医師 | 唐仁原 全  | 日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本臨床腎移植学会腎移植専門医、日本移植学会移植認定医、日本外科学会外科専門医、日本外科学会外科専門医、日本外科学会認定医、日本医師会認定産業医                                                                                                                             |
| 医師 | 木村 建彦  | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、臨床研修指導医                                                                                                                                                        |
| 医師 | 高森 信行  | 日本内科学会認定内科医、日本循環器学会循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会心血管カテーテル治療専門医、日本心血管インターベンション治療学会施設代表医、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、ゴア®バイアバーン®ステントグラフト実施医、臨床研修指導医                                                                              |
| 医師 | 橋詰 俊二  | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、インフェクションコントロールドクター（ICD）                                                                                                                                                              |
| 医師 | 岩瀬 俊   | 日本内科学会認定内科医、日本循環器学会循環器専門医                                                                                                                                                                                                    |
| 医師 | 飛梅 威   | 日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医、臨床研修指導医                                                                                                                                                                        |
| 医師 | 割石 精一郎 | 日本外科学会外科専門医、日本外科学会認定医、心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導者、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による指導医、日本集中治療医学会専門医、臨床研修指導医                                                                                                                              |
| 医師 | 金山 博臣  | 日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 泌尿器腹腔鏡技術認定制度、日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 泌尿器ロボット支援手術ブロック認定制度                                                                               |
| 医師 | 神田 和哉  | 日本透析医学会透析専門医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定制度                                                                                                                                                |
| 医師 | 横田 成司  | 日本透析医学会透析専門医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定制度、日本がん治療認定医機構がん治療認定医                                                                                                                             |
| 医師 | 野間 喜彦  | 日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会研修指導医、日本糖尿病学会専門医、日本臨床検査医学会 日本専門医機構 臨床検査専門医                                                                                                                                                                |
| 医師 | 小松 まち子 | 日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会研修指導医、日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本人間ドック学会人間ドック認定医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医、日本医師会認定健康スポーツ医                                                                                                 |
| 医師 | 三井 由加里 | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医、臨床研修指導医                                                                                                                                                            |
| 医師 | 篠原 正幸  | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、日本血液学会認定指導医、日本医師会認定産業医、インフェクションコントロールドクター（ICD）、臨床研修指導医                                                                                                                               |
| 医師 | 安倍 正博  | 日本血液学会専門医、日本内科学会認定医                                                                                                                                                                                                          |
| 医師 | 高橋 真美子 | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、JMECCインストラクター                                                                                                                                                                        |
| 医師 | 宮 恵子   | 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会研修指導医、日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科指導医、日本甲状腺学会専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、臨床研修指導医                                                                                        |
| 医師 | 曾根 佳世子 | 日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医、日本消化器病学会消化器病専門医                                                                                                                                                                                       |

|        |        |                                                                                     |
|--------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 臨床工学技士 | 麻 裕文   | 日本カプセル内視鏡学会小腸カプセル内視鏡読影支援技師、日本カプセル内視鏡学会大腸カプセル内視鏡読影支援技師、日本医療機器学会 医療機器情報コミュニケーター(MDIC) |
| 臨床工学技士 | 露口 達也  | 徳島県糖尿病療養指導士                                                                         |
| 臨床工学技士 | 鎌田 優   | 透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士                                                                |
| 臨床工学技士 | 田中 悠作  | 透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士                                                                |
| 臨床工学技士 | 岡田 大佑  | 透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士                                                                |
| 臨床工学技士 | 大西 翔太  | 防火管理者                                                                               |
| 臨床工学技士 | 八幡 優季  | 透析技術認定士、日本心血管インターベンション治療学会心血管インターベンション技師                                            |
| 臨床工学技士 | 野口 隼一  | 透析技術認定士                                                                             |
| 臨床工学技士 | 吉村 浩昭  | 透析技術認定士                                                                             |
| 臨床工学技士 | 那佐出 朋代 | 透析技術認定士                                                                             |
| 臨床工学技士 | 山下 翔   | 透析技術認定士                                                                             |
| 臨床工学技士 | 平岡 大知  | 防火管理者                                                                               |
| 臨床工学技士 | 小賀野 和宏 | 透析技術認定士、徳島県糖尿病療養指導士、防火管理者                                                           |
| 臨床工学技士 | 小山田 桂大 | 透析技術認定士                                                                             |
| 臨床工学技士 | 松本 侑也  | 透析技術認定士                                                                             |

|       |       |                  |
|-------|-------|------------------|
| 放射線技師 | 横内 義憲 | 医療安全管理者、X線CT認定技師 |
| 放射線技師 | 谷 恵理奈 | 第一種放射線取扱主任者      |
| 放射線技師 | 佐木山 薫 | X線CT認定技師         |
| 放射線技師 | 松村 亮典 | 磁気共鳴専門技術者        |

|        |        |                                               |
|--------|--------|-----------------------------------------------|
| 臨床検査技師 | 多田 浩章  | 超音波検査士(循環器・血管)、徳島県肝炎医療コーディネーター、徳島県糖尿病療養指導士    |
| 臨床検査技師 | 徳永 尚樹  | 二級臨床検査士(血液学)、緊急臨床検査士、臨床実習指導者                  |
| 臨床検査技師 | 吉川 由佳里 | 超音波検査士(循環器)、超音波検査士(血管)、血管診療技師、徳島県肝炎医療コーディネーター |
| 臨床検査技師 | 山田 真由美 | 超音波検査士(消化器)                                   |
| 臨床検査技師 | 岡本 拓也  | 認定一般検査技師、認定腎臓病検査技師                            |
| 臨床検査技師 | 宮繁 歩那実 | 徳島県肝炎医療コーディネーター                               |

|       |        |                                |
|-------|--------|--------------------------------|
| 管理栄養士 | 原 恵子   | 日本糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士            |
| 管理栄養士 | 森 恭子   | 日本糖尿病療養指導士                     |
| 管理栄養士 | 松浦 香織  | 日本糖尿病療養指導士                     |
| 管理栄養士 | 大西 嘉奈子 | 静脈経腸栄養TNT-D認定管理栄養士、徳島県糖尿病療養指導士 |
| 管理栄養士 | 岩朝 奏   | 徳島県糖尿病療養指導士                    |
| 管理栄養士 | 川上 言   | 日本糖尿病療養指導士                     |

|     |        |                                                        |
|-----|--------|--------------------------------------------------------|
| 薬剤師 | 志内 敏郎  | 医療安全管理者、第一種衛生管理者、認定実務実習指導薬剤師、腎臓病薬物療法専門薬剤師、日病薬病院薬学認定薬剤師 |
| 薬剤師 | 村上 真也  | 第一種衛生管理者、認定実務実習指導薬剤師、日病薬病院薬学認定薬剤師、腎臓病療養指導士             |
| 薬剤師 | 北條 千春  | 認定実務実習指導薬剤師                                            |
| 薬剤師 | 杉野 有里子 | 日病薬病院薬学認定薬剤師、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士                      |
| 薬剤師 | 飛田 知子  | 医療安全管理者                                                |
| 薬剤師 | 楠藤 梨恵  | 第一種衛生管理者、日病薬病院薬学認定薬剤師                                  |
| 薬剤師 | 空野 一葉  | 第一種衛生管理者、認定実務実習指導薬剤師、徳島県糖尿病療養指導士                       |
| 薬剤師 | 宮岡 恵奈  | 日病薬病院薬学認定薬剤師                                           |
| 薬剤師 | 川島 幸   | 認定実務実習指導薬剤師                                            |

|     |        |                            |
|-----|--------|----------------------------|
| 看護師 | 奥谷 晴美  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 横納 幸子  | 日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士 |
| 看護師 | 谷澤 恵子  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 木内 雄子  | 日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士 |
| 看護師 | 尾方 恵美  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 河野 久美子 | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 勝浦 宏美  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 藤本 花恵  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 美崎 緑   | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 松尾 久代  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 高島 睦美  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 梯 佳那子  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 上田 ユキ  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 小笠 文子  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 富士谷 幸恵 | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 長江 菜緒  | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 近藤 郁   | 徳島県糖尿病療養指導士                |
| 看護師 | 常陸 真由美 | 医療安全管理者                    |

|     |        |                                                 |
|-----|--------|-------------------------------------------------|
| 看護師 | 藤川 みゆき | 日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士 |
| 看護師 | 山田 美佳  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                  |
| 看護師 | 川人 克美  | 日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士                      |
| 看護師 | 元木 寿依  | 徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士、日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士 |
| 看護師 | 武市 麻希  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                  |
| 看護師 | 井幡 理恵  | 日本終末期ケア協会認定 急性期ケア専門士                            |
| 看護師 | 仲尾 和恵  | 日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士                 |
| 看護師 | 田中 好美  | 透析技術認定士、慢性腎臓病療養指導看護師                            |
| 看護師 | 新開 リサ  | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                  |
| 看護師 | 宮下 めぐみ | 日本腹膜透析医学会指導看護師                                  |
| 看護師 | 石野 聡子  | 徳島県糖尿病療養指導士                                     |

|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 看護助手 | 田中 寛子 | ガイドヘルパー |
|------|-------|---------|

|        |        |                                                                   |
|--------|--------|-------------------------------------------------------------------|
| 臨床工学技士 | 道脇 宏行  | 透析技術認定士、臨床実習指導者、防災管理者、防火管理者                                       |
| 臨床工学技士 | 細谷 陽子  | 透析技術認定士、徳島県糖尿病療養指導士、防火管理者、日本アフェリシス学会認定技士                          |
| 臨床工学技士 | 中野 正史  | 透析技術認定士、防火管理者                                                     |
| 臨床工学技士 | 東口 裕亮  | 腹膜透析認定指導臨床工学技士                                                    |
| 臨床工学技士 | 磯田 正紀  | 防火管理者                                                             |
| 臨床工学技士 | 長野 圭吾  | 医療安全管理者                                                           |
| 臨床工学技士 | 原田 めぐみ | 腹膜透析認定指導臨床工学技士、日本アフェリシス学会認定技士                                     |
| 臨床工学技士 | 東根 直樹  | 透析技術認定士、日本心血管インターベンション治療学会心血管インターベンション技師                          |
| 臨床工学技士 | 相坂 佳彦  | 透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士、日本心血管インターベンション治療学会心血管インターベンション技師、自衛消防組織統括管理者 |
| 臨床工学技士 | 三橋 和義  | 防火管理者                                                             |
| 臨床工学技士 | 森 浩章   | 透析技術認定士                                                           |
| 臨床工学技士 | 数藤 敬一  | 透析技術認定士                                                           |
| 臨床工学技士 | 清水 一郎  | 透析技術認定士                                                           |
| 臨床工学技士 | 成瀬 裕深  | 透析技術認定士                                                           |
| 臨床工学技士 | 英 理香   | 透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士                                              |
| 臨床工学技士 | 野崎 麻子  | 防火管理者                                                             |

|      |        |           |
|------|--------|-----------|
| クラーク | 秋田 悦代  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 阿部 千枝  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 井上 有貴子 | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 桶谷 亜由  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 香川 泰子  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 笠井 咲耶  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 寒川 里恵  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 藏本 美園  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 近藤 由紀子 | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 佐藤 真理子 | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 島田 菜央  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 立岩 静菜  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 田中 美優  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 中田 未希  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 新田 夕姫  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 福本 美穂  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 藤澤 真弓  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 藤田 豊子  | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 細田 真帆子 | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 森本 麻友美 | 医師事務作業補助者 |
| クラーク | 八幡 靖子  | 医師事務作業補助者 |
|      |        |           |
| 事務   | 宮島 彰子  | 診療情報管理士   |
| 事務   | 辰己 奈月  | 診療情報管理士   |
| 事務   | 西本 葉月  | 診療情報管理士   |
| 事務   | 竹森 洋介  | 診療情報管理士   |
| 事務   | 前坂 里美  | 施設基準管理士   |
| 事務   | 末包 博人  | 医療情報技師    |
| 事務   | 奥尾 康晴  | 医療情報技師    |
| 事務   | 原 雅子   | 診療情報管理士   |

|       |        |                                                                                                                                                    |
|-------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 歯科衛生士 | 高石 和子  | 徳島県糖尿病療養指導士、認定歯科衛生士（認定分野A：摂食嚥下リハビリテーション）、認定歯科衛生士（認定分野A：糖尿病予防指導）、認定歯科衛生士（認定分野C：研修指導者・臨床実地指導者）                                                       |
| 歯科衛生士 | 薦田 茜   | 嚥下トレーナー歯科衛生士、社会福祉士                                                                                                                                 |
| 歯科衛生士 | 藤倉 みき  | 嚥下トレーナー歯科衛生士、第一種歯科感染管理者、社会福祉士                                                                                                                      |
| 歯科衛生士 | 上田 甲奈  | 嚥下トレーナー歯科衛生士、認定歯科衛生士（認定分野A：糖尿病予防指導）、認定歯科衛生士（認定分野C：研修指導者・臨床実地指導者）                                                                                   |
| 歯科衛生士 | 山口 絵里  | 社会福祉士                                                                                                                                              |
|       |        |                                                                                                                                                    |
| 理学療法士 | 大石 晃久  | 日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、日本理学療法士協会認定指定管理者（上級）、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、理学療法士臨床実習指導者                                    |
| 理学療法士 | 玉谷 高広  | 日本糖尿病療養指導士、徳島県糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会認定指定管理者（上級）、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士(代謝)、日本理学療法士協会 認定理学療法士(循環)、理学療法士臨床実習指導者 |
| 理学療法士 | 友成 美貴  | 日本理学療法士協会 認定理学療法士(脳血管)                                                                                                                             |
| 理学療法士 | 宮本 智彦  | 徳島県糖尿病療養指導士、日本DMAT隊員 業務調整員、理学療法士臨床実習指導者                                                                                                            |
| 理学療法士 | 若山 憲市  | 徳島県糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士（介護予防）                                                                  |
| 理学療法士 | 秦 麻友   | 徳島県糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会認定指定管理者（上級）、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士（脳血管）                                              |
| 理学療法士 | 西本 篤史  | 日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士(循環)、理学療法士臨床実習指導者                                   |
| 理学療法士 | 山本 晃平  | 日本糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会認定指定管理者（上級）、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士(代謝)                                                |
| 理学療法士 | 武市 杏   | 日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士（運動器）                                                                               |
| 理学療法士 | 豊田 康貴  | 3学会合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士（脳血管）                                                       |
|       |        |                                                                                                                                                    |
| 作業療法士 | 登井 麻絵  | 徳島県糖尿病療養指導士、日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士、日本作業療法士協会 認定介護予防推進リーダー、公認心理師、作業療法士臨床実習指導者                                                                          |
| 作業療法士 | 松本 輝美  | 3学会合同呼吸療法認定士、徳島県糖尿病療養指導士、日本作業療法士協会 認定介護予防推進リーダー、日本作業療法士協会 認定作業療法士、作業療法士臨床実習指導者                                                                     |
|       |        |                                                                                                                                                    |
| 言語聴覚士 | 岩田 亮   | 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本咀嚼学会健康咀嚼指導士、LSVT®LOUD認定セラピスト                                                                                                |
|       |        |                                                                                                                                                    |
| 社会福祉士 | 田中 リエ  | 社会福祉士                                                                                                                                              |
| 社会福祉士 | 末綱 麻由美 | 社会福祉士                                                                                                                                              |
| 社会福祉士 | 紋田 まや  | 社会福祉士                                                                                                                                              |

|        |                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 吉川 由佳里 | 徳島県臨床検査技師会生理検査研究班副班長                                                                                                                                 |
| 岡本 拓也  | 徳島県臨床検査技師会一般検査研究班副班長、徳島県臨床検査技師会精度管理委員（輸血部門）                                                                                                          |
| 原 恵子   | 徳島NST研究会幹事                                                                                                                                           |
| 森 恭子   | 徳島腎と栄養研究会幹事                                                                                                                                          |
| 松浦 香織  | 徳島県医療栄養士協議会幹事                                                                                                                                        |
| 志内 敏郎  | 日本腎臓病薬物療法学会理事・代議員・専門薬剤師認定制度委員長(試験委員、認定委員)・広報委員・COI委員長、徳島県病院薬剤師会理事・中小病院委員、徳島腎と薬剤研究会会長、CKD・CVD薬剤研究会会長、徳島薬剤師循環器研究会世話人、徳島県薬剤師会理事・研究倫理審査運営委員、徳島大学薬学部臨床准教授 |
| 村上 真也  | 徳島腎と薬剤研究会事務局、CKD・CVD薬剤研究会事務局                                                                                                                         |
| 北條 千春  | 徳島大学薬学部非常勤講師                                                                                                                                         |
| 空野 一葉  | 徳島大学薬学部非常勤講師                                                                                                                                         |
| 大石 晃久  | 日本心臓リハビリテーション学会評議員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部幹事、徳島県心臓リハビリテーション研究会世話役、日本心臓リハビリテーション学会学術集会査読委員、日本心臓リハビリテーション学会学術集会プログラム委員(2024年度のみ)                           |
| 玉谷 高広  | 日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員、四国理学療法士学会 査読委員、徳島県理学療法士会 健康増進部員、東部LCDEの会 徳島市支部 世話人                                                                            |
| 西本 篤史  | 日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員                                                                                                                               |
| 山本 晃平  | 徳島CDEJ会世話人                                                                                                                                           |
| 高石 和子  | 徳島県歯科衛生士会学術担当理事、一般社団法人徳島県歯科衛生士会理事、公益社団法人日本歯科衛生士会認定歯科衛生士審査委員                                                                                          |
| 奥尾 康晴  | 一般社団法人阿波あいネットシステム管理委員                                                                                                                                |

## 職員数

### 職員数 2024年4月1日現在 注:( )内は2023年4月1日現在

|                            |                 |                  |                 |
|----------------------------|-----------------|------------------|-----------------|
| ■社会医療法人川島会 職員数合計／700名(689) |                 |                  |                 |
| ●常勤医師／51名(47)              | ●非常勤医師／63名(54)  | ●歯科医師／1名(1)      | ●非常勤歯科医師／6名(6)  |
| ●看護師／171名(170)             | ●准看護師／16名(18)   | ●看護助手／83名(83)    | ●薬剤師／12名(13)    |
| ●管理栄養士／6名(5)               | ●臨床検査技師／14名(12) | ●診療放射線技師／13名(13) | ●臨床工学技士／84名(87) |
| ●理学療法士／9名(9)               | ●作業療法士／2名(2)    | ●言語聴覚士／1名(1)     | ●歯科衛生士／6名(5)    |
| ●社会福祉士／3名(2)               | ●医事課／36名(34)    | ●診療情報課／7名(3)     | ●クラーク／59名(61)   |
| ●総務課／19名(26)               | ●医療支援部／24名(22)  | ●訪問介護員／14名(15)   |                 |

|                         |                    |                  |                |
|-------------------------|--------------------|------------------|----------------|
| ■社会福祉法人飛鳥 職員数合計／35名(35) |                    |                  |                |
| ●施設長／1名(1)              | ●管理者／0名(3)         | ●介護支援専門職員／4名(3)  | ●看護師／2名(3)     |
| ●介護職員／11名(7)            | ●生活相談員／2名(1)       | ●サービス提供責任者／3名(2) | ●訪問介護員／10名(12) |
| ●福祉用具専門相談員／2名(3)        | ●医療ソーシャルワーカー／0名(0) |                  |                |

## 医師・職員院外団体等役職

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 川島 周   | 日本赤十字社理事、徳島県赤十字有功会副会長、徳島大学臨床教授、徳島写楽の会会長、徳島の彫刻文化を進める会会長                                                                                                                                                                                                                                            |
| 水口 潤   | 日本腹膜透析医学会理事長・評議員、日本ハイパフォーマンスマンブレン研究会理事長、日本HDF医学会理事、日本透析アクセス医学会副理事長、腎臓病臨床経済協議会理事、とくま移植医療推進財団理事、腎臓病SDM推進協会幹事、日本臨床腎移植学会監事、四国透析療法研究会監事、日本臨床腎移植学会評議員、徳島大学医学部腎臓内科臨床教授、徳島透析医会会長、日本腎不全栄養研究会顧問、バスキュラーアクセインターベンション治療研究会世話人、日本腎・血液浄化AI学会監事・顧問、日本臓器移植関連協議会世話人、日本血液浄化技術学会顧問、徳島透析療法研究会顧問、日本腎不全合併症医学会監事、日本透析医会理事 |
| 西内 健   | 徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員、徳島県立総合看護学校准看護学科講師                                                                                                                                                                                                                          |
| 本藤 秀樹  | 徳島県医師会常任理事、徳島県立中央病院顧問、徳島治験ネットワーク機構理事、徳島県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員、徳島県後発医薬品適正使用協議会委員会、阿波あいネット理事、四国地方社会保険医療協議会委員、徳島県地域医療協議会委員、徳島県スポーツコミッションスポーツ力向上委員会委員                                                                                                                                                    |
| 西谷 真明  | 徳島市医師会前立腺癌検診委員会委員長                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 岡田 一義  | 日本腹膜透析医学会評議員、日本腎不全合併症医学会評議員・理事、日本腎不全栄養研究会顧問、日本高齢者腎不全研究会代表世話人、四国透析療法研究会世話人、徳島透析療法研究会世話人                                                                                                                                                                                                            |
| 坂東 弘康  | 徳島県立海部病院名誉院長、日本禁煙学会評議員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会徳島県支部長                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 長瀬 教夫  | 独立行政法人国立病院機構東徳島医療センター名誉院長、日本循環器学会四国支部功労会員                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 田代 学   | 日本アフレシス学会関西地方会評議員、徳島透析療法研究会幹事、日本腎不全合併症医学会評議員、日本透析医学会評議員、日本血液透析濾過医学会 評議員、日本透析医学会学術委員会 コメディカルスタッフ研究助成基金運営委員会委員・専門医制度委員会 研修プログラム小委員会委員・専門医制度委員会 専門医認定小委員会委員・統計調査委員会・統計解析小委員会・ウロキナーゼ供給困難下におけるVA血栓性閉塞に対する代替医薬品の検討に関するワーキンググループ                                                                         |
| 井上 朋子  | 日本腹膜透析医学会評議員、日本腎不全合併症医学会評議員、日本腎・血液浄化AI学会理事、日本腎不全合併症医学会総務委員、日本腎・血液浄化AI学会広報委員・学術委員、一般社団法人 日本透析医学会・学術委員会・慢性腎臓病に伴う貧血治療のガイドライン改訂ワーキンググループ・統計調査委員会・EDC推進検討ワーキンググループ                                                                                                                                     |
| 岩瀬 俊   | 徳島大学医学部非常勤講師                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 野間 喜彦  | 日本糖尿病学会功労学術評議員、徳島県医師会生活習慣病予防対策委員会糖尿病対策班班長、糖尿病対策推進会議地域委員(日本医師会、日本糖尿病学会)、徳島県糖尿病協会理事、プラス1000歩県民運動促進会会長、徳島CDEJ会顧問医師、徳島NST研究会幹事、徳島大学医学部臨床教授、徳島県保険者協議会顧問                                                                                                                                                |
| 小松 まち子 | 徳島市医師会糖尿病対策委員会委員                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 宮 恵子   | 徳島市医師会女性医師プロジェクト委員                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 三好 人正  | 日本消化器内視鏡学会四国支部評議員、徳島大学大学院保健科学研究科非常勤講師、徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器内科学分野非常勤講師、日本消化器病学会四国支部評議員、徳島大学大学院医学研究科非常勤講師                                                                                                                                                                                               |
| 川島 友一郎 | 徳島大学臨床准教授、徳島県歯科医師連盟評議員、徳島県歯科医師会地域保健部常任委員、徳島市歯科医師会代議員                                                                                                                                                                                                                                              |
| 西分 延代  | 徳島県立総合看護学校准看護学科講師、徳島県新人看護職員研修推進協議会委員                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 平野 春美  | 徳島腎と栄養研究会幹事                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 藤田 都慕  | 徳島県看護協会ナースバンクプロジェクト委員                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 祖地 香織  | 徳島県立総合看護学校第一看護学科講師                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 三宅 直美  | 徳島腎不全看護研究会幹事                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 笹田 真紀  | 徳島県立総合看護学校准看護学科講師                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 数藤 康代  | 徳島腎不全看護研究会幹事・事務局、日本腎不全看護学会慢性腎臓病療養指導看護師徳島県代表、一般社団法人日本サイネフロロジー学会広報委員                                                                                                                                                                                                                                |
| 佐藤 裕子  | 徳島CDEJ会世話人                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 福壽 悦子  | 徳島CDEJ会世話人                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 仲尾 和恵  | 日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 道脇 宏行  | 徳島県臨床工学技士会副会長、徳島県臨床工学技士会学術・教育委員長、日本血液浄化技術学会学術委員、中四国臨床工学会連絡協議会学術委員、日本臨床工学技士連盟徳島県担当                                                                                                                                                                                                                 |
| 東口 裕亮  | 徳島県臨床工学技士会学術・教育委員(代謝部会)                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 東根 直樹  | 徳島県臨床工学技士会学術・教育委員(ME部会)                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 相坂 佳彦  | 徳島県臨床工学技士会学術・教育委員(循環部会)                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 八幡 優希  | 徳島県臨床工学技士会学術・教育委員(呼吸部会)                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 山下 翔   | 一般社団法人徳島県臨床工学技士会理事・若手人材活性化委員会委員長、中四国臨床工学会連絡協議会若手委員会委員                                                                                                                                                                                                                                             |
| 田尾 知浩  | 一般社団法人徳島県臨床工学技士会監事 徳島透析療法カンファレンス幹事                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 田中 悠作  | 徳島県臨床工学技士会学術・教育委員(代謝部会)                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 横内 義憲  | 徳島CT研究会世話人                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 赤澤 正義  | 日本核医学技術学会中四国地方会世話人、徳島核医学研究会世話人                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 多田 浩章  | 徳島心エコー図研究会世話人                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 徳永 尚樹  | 日本血栓止血学会標準化委員会役員、日本抗リン脂質抗体標準化ワークショップ役員、日本臨床化学会止血・血栓検査専門委員会凝固波形解析プロジェクト委員、日本検査血液学会編集委員、日本医療検査科学会血液検査機器技術委員会委員、三重県立総合医療センター客員研究員、日本腎・血液浄化AI学会 評議員、日本血栓止血学会 認定制度検討委員会委員、日本医療検査科学会 血液検査機器技術委員会 委員                                                                                                     |

|        |        |                                                      |           |                |
|--------|--------|------------------------------------------------------|-----------|----------------|
| 安倍 正博  | 医師     | 四国血液疾患セミナー                                           | 座長        | 2023/4/12      |
|        |        | 第48回日本骨髄腫学会学術集会 スポンサードシンポジウム                         | 座長        | 2023/5/28      |
|        |        | 多発性骨髄腫全国Web講演会                                       | 座長        | 2023/6/13      |
|        |        | The13th JSH International Symposium 2023in Tsukuba   | 座長        | 2023/7/21      |
|        |        | JANSSEN MYELOMA FORUM2023                            | 座長        | 2023/8/5       |
|        |        | DARZQURO Web Seminar多発性骨髄腫の治療目的とは？                   | 座長        | 2023/8/30      |
|        |        | Multiple Myeloma Web Seminar 230920                  | 座長        | 2023/9/20      |
|        |        | 第85回日本血液学会学術集会ランチョンセミナー2-2                           | 演者・座長     | 2023/10/14     |
|        |        | 多発性骨髄腫 全国Web講演会                                      | 演者・座長     | 2023/12/8      |
|        |        |                                                      |           |                |
|        |        |                                                      |           |                |
|        |        |                                                      |           |                |
|        |        |                                                      |           |                |
|        |        |                                                      |           |                |
|        |        |                                                      |           |                |
|        |        |                                                      |           |                |
| 川島友一郎  | 医師     | 第64回全日本病院学会in広島                                      | 座長        | 2023/10/14     |
| 戸田 己記  | 看護師    | 第14回徳島PDネットワークセミナー                                   | 座長        | 2023/8/27      |
| 道脇 宏行  | 臨床工学技士 | 第49回日本血液浄化技術学会学術大会・総会 一般演題                           | 座長        | 2023/4/22      |
|        |        | 2023年度第1回血液浄化WEBセミナー 特別講演                            | 座長        | 2023/5/25      |
|        |        | 第68回日本透析医学会学術集会・総会                                   | 司会・演者     | 2023/6/16-6/18 |
|        |        | 第68回日本透析医学会学術集会・総会 教育講演                              | 司会        | 2023/6/17      |
|        |        | 第57回四国透析療法研究会 ランチョンセミナー                              | 司会        | 2023/9/17      |
|        |        | 2023年度徳島県臨床工学技士会学術集会 教育講演                            | 座長        | 2023/10/19     |
|        |        |                                                      |           |                |
|        |        |                                                      |           |                |
| 東口 裕亮  | 臨床工学技士 | 徳島県臨床工学技士会学術Webセミナー                                  | 座長        | 2023/1/28      |
| 東根 直樹  | 臨床工学技士 | 徳島県臨床工学技士会セミナー 2023年度第1回循環器部門学術セミナー症例ディスカッション「石灰化病変」 | 座長        | 2023/6/3       |
|        |        | 第57回四国透析療法研究会 一般演題臨床工学技士部門                           | 座長        | 2023/9/17      |
| 相坂 佳彦  | 臨床工学技士 | 第56回ベ－シング治療研究会                                       | ディスカッサント  | 2023/9/23      |
|        |        | 第20回四国お遍路LIVE                                        | 座長・コメンテータ | 2023/10/14     |
| 萩原 雄一  | 臨床工学技  | 第68回日本透析医学会学術集会・総会                                   | 座長        | 2023/6/18      |
| 田尾 知浩  | 臨床工学技士 | 第68回日本透析医学会学術集会・総会                                   | 座長        | 2023/6/17      |
| 田中 悠作  | 臨床工学技士 | 第49回日本血液浄化技術学会学術大会・総会                                | 座長        | 2023/4/22      |
| 廣瀬 大輔  | 臨床工学技士 | 第27回日本透析アクセス医学会学術集会・総会                               |           | 2023/11/18     |
| 多田 浩章  | 臨床検査技師 | 令和4年度徳島県臨床検査技師会生理研修会(徳島)                             | 司会        | 2023/1/31      |
|        |        | 令和4年度徳島県臨床検査技師会生理研修会(徳島)                             | 司会        | 2023/2/28      |
|        |        | 令和5年度徳島県臨床検査技師会生理研修会(徳島)                             | 司会        | 2023/5/16      |
|        |        | 令和5年度徳島県臨床検査技師会生理研修会(徳島)                             | 司会        | 2023/6/25      |
|        |        | 令和5年度徳島県臨床検査学会四県合同生理研修会(高知)                          | 司会        | 2023/10/30     |
|        |        | 第27回日本透析アクセス医学会学術集会・総会                               | 座長        | 2023/11/18     |
|        |        | 令和5年度徳島県医学校査学会一般演題(徳島)                               | 座長        | 2023/12/10     |
|        |        |                                                      |           |                |
| 吉川 由佳里 | 臨床検査技師 | 第72回日本医学検査学会 一般演題                                    | 座長        | 2023/5/21      |
|        |        | 2023年度日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第56回)                   | 司会        | 2023/9/17      |
| 岡本 拓也  | 臨床工学技士 | 第72回日本医学検査学会 一般演題                                    | 座長        | 2023/5/21      |
| 志内 敏郎  | 薬剤師    | 第31回徳島腎と薬剤研究会                                        | 座長        | 2023/2/28      |
|        |        | 第32回徳島腎と薬剤研究会                                        | 座長        | 2023/4/20      |
|        |        | 第17回CKD・CVD薬剤研究会                                     | 座長        | 2023/7/20      |
|        |        | YMTM合同薬剤研究会                                          | 座長        | 2023/8/29      |
|        |        | 第17回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会                               | 座長        | 2023/10/28     |
|        |        | 第17回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会                               | 座長        | 2023/10/29     |
|        |        | 第18回CKD・CVD薬剤研究会                                     | 座長        | 2023/11/30     |
|        |        | 第19回CKD・CVD薬剤研究会                                     | 座長        | 2023/12/21     |
| 大石 晃久  | 理学療法士  | 第29回日本心臓リハビリテーション学会学術集会                              | 座長        | 2023/7/15      |

|                    |    |                                                                    |      |            |
|--------------------|----|--------------------------------------------------------------------|------|------------|
| 座長、司会等／2023年1月～12月 |    |                                                                    |      |            |
| 水口 潤               | 医師 | 第56回日本臨床腎移植学会 ジョイントシンポジウム                                          | 座長   | 2023/2/12  |
|                    |    | 第2回日本腎不全合併症医学会ニプロ株式会社共催セミナー                                        | 座長   | 2023/2/19  |
|                    |    | 亜鉛について考える会～愛媛&徳島合同講演会～                                             | 座長   | 2023/3/9   |
|                    |    | CKD-MBD Symposium2023                                              | 座長   | 2023/3/16  |
|                    |    | 第38回ハイパフォーマンスメンブレン研究会 シンポジウム                                       | 座長   | 2023/3/18  |
|                    |    | 第13会日本腎臓リハビリテーション学会 大会長講演                                          | 司会   | 2023/3/19  |
|                    |    | 徳島高血圧×腎臓セミナー                                                       | 座長   | 2023/3/22  |
|                    |    | 血液浄化療法Expert Seminar                                               | 座長   | 2023/4/11  |
|                    |    | 第68回日本透析医学会学術集会 学術委員会企画                                            | 司会   | 2023/6/16  |
|                    |    | 第68回日本透析医学会学術集会 シンポジウム                                             | 座長   | 2023/6/17  |
|                    |    | 第68回日本透析医学会学術集会 特別講演                                               | 司会   | 2023/6/18  |
|                    |    | 第68回日本透析医学会学術集会 大会長講演                                              | 司会   | 2023/6/18  |
|                    |    | 第32会日本腎不全外科学会 スポンサードセミナー                                           | 座長   | 2023/7/9   |
|                    |    | テルモPD WebSeminar 腹膜透析療法の普及に向けて                                     | 座長   | 2023/7/20  |
|                    |    | 第21回高齢者腎不全研究会 共催ランチョンセミナー                                          | 座長   | 2023/7/30  |
|                    |    | ARNI Hypertension Meeting                                          | 総合司会 | 2023/9/5   |
|                    |    | 第57回四国透析療法研究会 スポンサードセミナー                                           | 座長   | 2023/9/17  |
|                    |    | 第29回日本腹膜透析医学会学術集会・総会スイツセミナー                                        | 座長   | 2023/9/30  |
|                    |    | 第29回日本腹膜透析医学会学術集会 シンポジウム                                           | 座長   | 2023/10/1  |
|                    |    | 第29回日本腹膜透析医学会学術集会 大会長企画                                            | 司会   | 2023/10/1  |
|                    |    | 第5回血液浄化療法Expert Seminar                                            | 座長   | 2023/10/3  |
|                    |    | 血液浄化Special Lecture                                                | 座長   | 2023/10/27 |
|                    |    | 第3回日本腎・血液浄化AI学会学術集会 基調講演                                           | 司会   | 2023/11/12 |
|                    |    | 第29回日本HDF医学会学術集会 シンポジウム                                            | 座長   | 2023/11/25 |
|                    |    | 第29回日本HDF医学会学術集会 ランチョンセミナー                                         | 座長   | 2023/11/25 |
|                    |    | 第29回日本HDF医学会学術集会 教育講演                                              | 座長   | 2023/11/25 |
|                    |    | 第53回徳島透析療法研究会 スイーツセミナー                                             | 座長   | 2023/12/3  |
|                    |    | 第7回I-HDF研究会ランチョンセミナー2                                              | 座長   | 2023/12/10 |
|                    |    | PD NET Seminar 2023                                                | 司会   | 2023/12/23 |
|                    |    |                                                                    |      |            |
|                    |    |                                                                    |      |            |
|                    |    |                                                                    |      |            |
| 西内 健               | 医師 | 徳島県心不全連携を考える会                                                      | 座長   | 2023/1/25  |
|                    |    | 徳島フットケア・足病医研究会                                                     | 座長   | 2023/5/18  |
|                    |    | ARNI高血圧Web Symposium                                               | 座長   | 2023/6/14  |
|                    |    | ARNI Hypertension Meeting                                          | 座長   | 2023/9/5   |
| 岡田 一義              | 医師 | 第2回日本腎不全合併症医学会学術集会・総会共催セミナー                                        | 座長   | 2023/2/18  |
|                    |    | 第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 ランチョンセミナー5                                 | 座長   | 2023/3/18  |
|                    |    | 第68回日本透析医学会学術集会・総会 ワークショップ                                         | 座長   | 2023/6/17  |
|                    |    | Kowa web カンファレンス                                                   | 座長   | 2023/8/1   |
|                    |    | ARNI Hypertension Meeting                                          | 座長   | 2023/9/5   |
|                    |    | 便秘Webセミナー                                                          | 座長   | 2023/9/14  |
|                    |    | 第57回四国透析療法研究会 テルモ(株)共催セミナー                                         | 座長   | 2023/9/17  |
|                    |    | 第57回四国透析療法研究会                                                      | 座長   | 2023/9/17  |
| 田代 学               | 医師 | 第68回日本透析医学会学術集会・総会 一般演題 その他の合併症/COVID-19                           | 座長   | 2023/6/18  |
|                    |    | 第14回徳島PDネットワークセミナー                                                 | 座長   | 2023/8/27  |
|                    |    | 第57回四国透析療法研究会                                                      | 座長   | 2023/9/17  |
|                    |    | 第27回日本透析アクセス医学会学術集会・総会 一般演題 VAモニタリング/サーバイランス1                      | 座長   | 2023/11/19 |
| 井上 朋子              | 医師 | 第68回日本血液透析医学会学術集会・総会 一般演題                                          | 座長   | 2023/6/17  |
|                    |    | 第57回四国透析療法研究会                                                      | 座長   | 2023/9/17  |
|                    |    | 第53回徳島透析療法研究会                                                      | 座長   | 2023/12/3  |
| 金山 博臣              | 医師 | 第110回日本泌尿器科学会総会 シンポジウム39「腹腔鏡手術の技術認定制度の現状と展望：他科と泌尿器科からのvision」      | 座長   | 2023/4/22  |
|                    |    | 第61回日本癌治療学会学術集会 一般口演36「腎臓(薬物)」                                     | 座長   | 2023/10/20 |
|                    |    | 第37回日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会総会                                             | 座長   | 2023/11/9  |
|                    |    | 第37回日本泌尿器内視鏡ロボティクス学会 研修助成金報告会2「第2回CST教育・研修助成金報告会」                  | 座長   | 2023/11/10 |
|                    |    | 第36回日本内視鏡外科学会総会 シンポジウム5「技術認定制度：ロボット支援手術と共に何処へ行くとー各科・領域の現状・方向・10年後」 | 司会   | 2023/12/7  |
|                    |    | 第36回日本内視鏡外科学会総会 ワークショップ14「前立腺全摘除術と鼠経ヘルニアー外科医と泌尿器科医の立場から」           | 司会   | 2023/12/8  |
|                    |    |                                                                    |      |            |
|                    |    |                                                                    |      |            |
| 野間 喜彦              | 医師 | 徳島県ジャディアンスWeb講演会                                                   | 座長   | 2022/1/13  |
|                    |    | DiaMond Seminar in 徳島                                              | 座長   | 2023/5/19  |
|                    |    | マンジャロWebセミナーin徳島                                                   | 座長   | 2023/7/5   |
|                    |    | ARNI Hypertension Meeting                                          | 座長   | 2023/9/5   |



眉山の夕焼け

## 編集後記

今年、川島病院で初めて腎移植を受けられた患者さんにインタビューをさせていただきました。

実は、今年で開設17年目となる歯科の初めての患者さんです。

たくさんの良い思い出についてお話頂き、とてもいい表情をされていたことが印象的でした。

改めてありがとうございました。

このように歴史は続いてゆき、

今年も広報委員としてそれを紡いでいくことへ携わることができました。

記事を書いてくださった皆様、写真撮影をしてくださった皆様、

そして編集に関わってくれた広報誌チームのスタッフに深く感謝申し上げます。

広報委員長 川島友一郎

## 診療統計等(2023年4月～2024年3月)

■外来患者延数 ■歯科患者延数 ■入院患者延数 ■新入院患者延数

| 外来患者延数   | 歯科患者延数  | 入院患者延数  | 新入院患者延数 |
|----------|---------|---------|---------|
| 133,048名 | 10,328名 | 36,435名 | 2,230名  |

■血液透析患者数(3月31日現在)

| 川島病院      | 川島透析クリニック | 鴨島川島クリニック | 鳴門川島クリニック |        |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 462名      | 42名       | 117名      | 121名      |        |
| 脇町川島クリニック | 阿南川島クリニック | 藍住川島クリニック | 在宅透析      | 合計     |
| 102名      | 57名       | 106名      | 5名        | 1,012名 |

■延べ回数

| 川島病院      | 川島透析クリニック | 鴨島川島クリニック | 鳴門川島クリニック |        |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 78,189回   | 5,144回    | 17,341回   | 18,182回   |        |
| 脇町川島クリニック | 阿南川島クリニック | 藍住川島クリニック | 合計        | アフエーシス |
| 15,270回   | 8,834回    | 15,344回   | 158,304回  | 144回   |

■透析患者数

|    | 新規導入患者数 | 患者数    |
|----|---------|--------|
| HD | 71名     | 1,012名 |
| PD | 18名     | 111名   |

■腎移植患者数 ●患者数／83名 3月31日現在

■主要処置・検査件数

| 消化器内視鏡 | CT       | 冠動脈CT | シャントPTA |
|--------|----------|-------|---------|
| 2,365件 | 6,008件   | 326件  | 648件    |
| 腎生検    | 心カテ/PTCA | RI    | MRI     |
| 50件    | 152件     | 241件  | 2,331件  |
| 心エコー   | 骨密度      | 嚥下内視鏡 |         |
| 3,096件 | 1,124件   | 22件   |         |

■手術・処置件数

| 手術総数   | 結石破砕 | シャントPTA | ペースメーカー植え込み |
|--------|------|---------|-------------|
| 2,026件 | 74件  | 648件    | 12件         |

■栄養指導件数 ●指導件数／2,623件

■リハビリ実施単位数 ●理学 22865単位  
●作業 4186単位  
●言語 1519単位  
●摂食機能療法 241件

■ケアハウス飛鳥入居者数(延べ) 586名  
■デイサービス利用者数(延べ) 6,799名  
■ヘルパーステーション利用者数(延べ) 1,017名  
■在宅介護支援センター計画者数(延べ) 1,610名  
■福祉用具貸与販売 貸与者数(延べ) 606名

■介護タクシー ●利用者人数(無料送迎を含む) 105名 (うち透析患者61名)  
●利用回数 1,300回(うち透析患者1151回)

■治験 ●川島病院 第Ⅲ相試験 1件